

尾鷲市まちづくりに関するアンケート調査 結果報告書

令和4年6月

【目次】

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査概要	2
3. 報告書の見方	2
II. 調査の結果	3
1. 回答者について	4
2. 本市での生活について	7
3. これからのまちづくりについて	13
4. 暮らしの満足度と今後の重要度について	45

Ⅰ. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は「第6次尾鷲市総合計画」の進行管理にあたり、市民の皆様のご意見を反映すべく、またこれからのまちづくりに関してどう考えているのかを把握するため、毎年アンケート調査を実施しているものです。

2. 調査概要

調査区域 : 尾鷲市全域
調査対象 : 18歳以上80歳以下の市民から1,000人を無作為抽出
調査時期 : 令和4年3月
配布数 : 1,000票
回収数 : 399票
回収率 : 39.9%

3. 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

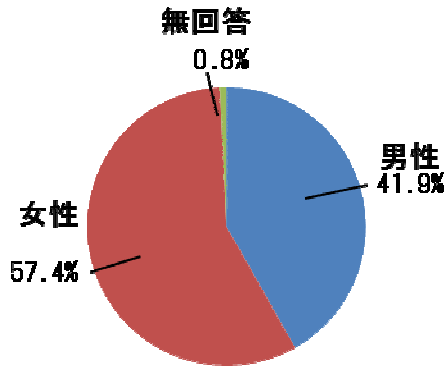
グラフ及び表の「N数 (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

II. 調査の結果

1. 回答者について

問1 あなたの性別をお聞かせください。

回答者の性別は、「女性」が57.4%、「男性」が41.9%、無回答が0.8%となっています。



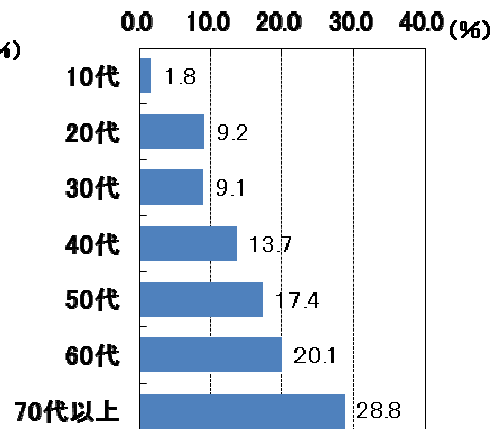
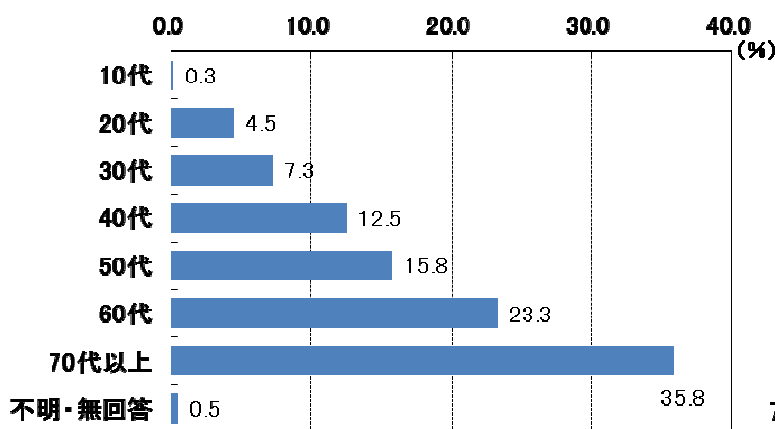
N = 399

問2 あなたの年齢をお聞かせください。

回答者の年齢は、「60代」が23.3%、「70代以上」が35.8%と、60代以上が約6割を占めています。右図の住民基本台帳の人口割合と比較すると、「60代」と「70代以上」で実際の割合より高く、その他の年代では低くなっています。

N = 399

※調査対象である18歳以上の人口の年齢構成比

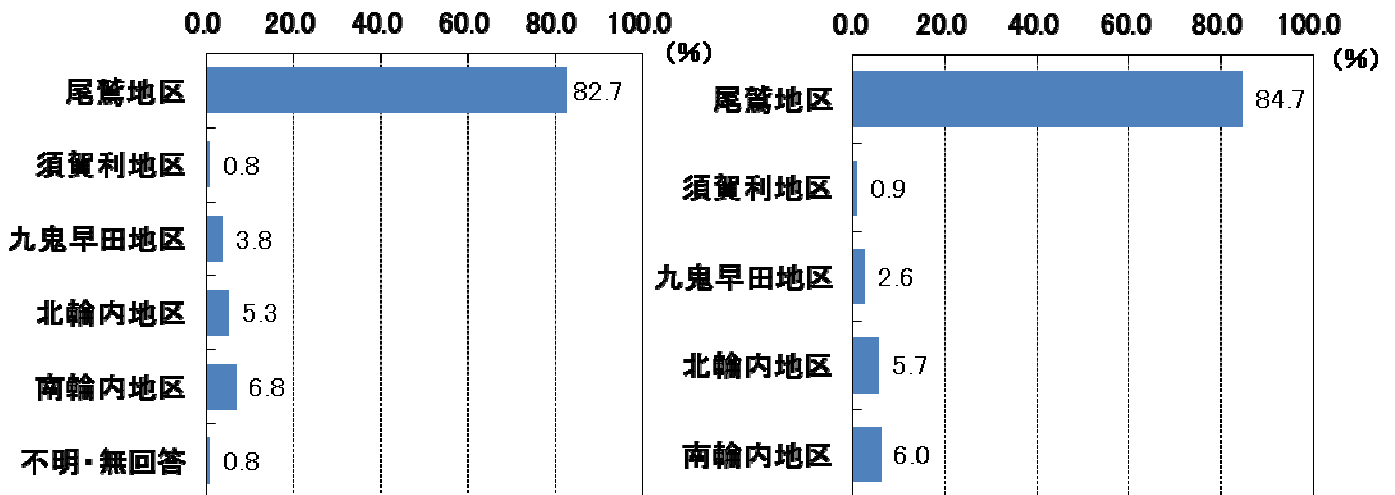


(参考) : 住民基本台帳令和4年1月現在

問3 あなたは、尾鷲市のどの地区にお住まいですか。

回答者の居住地区は、「尾鷲地区」が 82.7%と大半を占めています。右図の住民基本台帳の人口割合と比較しても、ほぼ同じ割合となっています。

N = 399

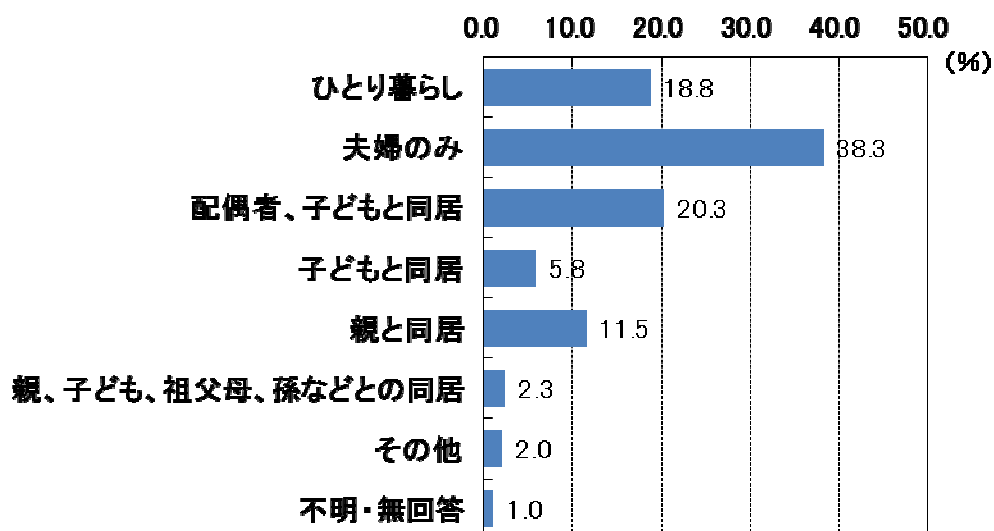


(参考) : 住民基本台帳令和 4 年 1 月現在

問4 あなたの世帯の状況を教えてください。

回答者の世帯の状況は、「夫婦のみ」が 38.3%、「配偶者、子どもと同居」が 20.3%、「ひとり暮らし」が 18.8%となっています。

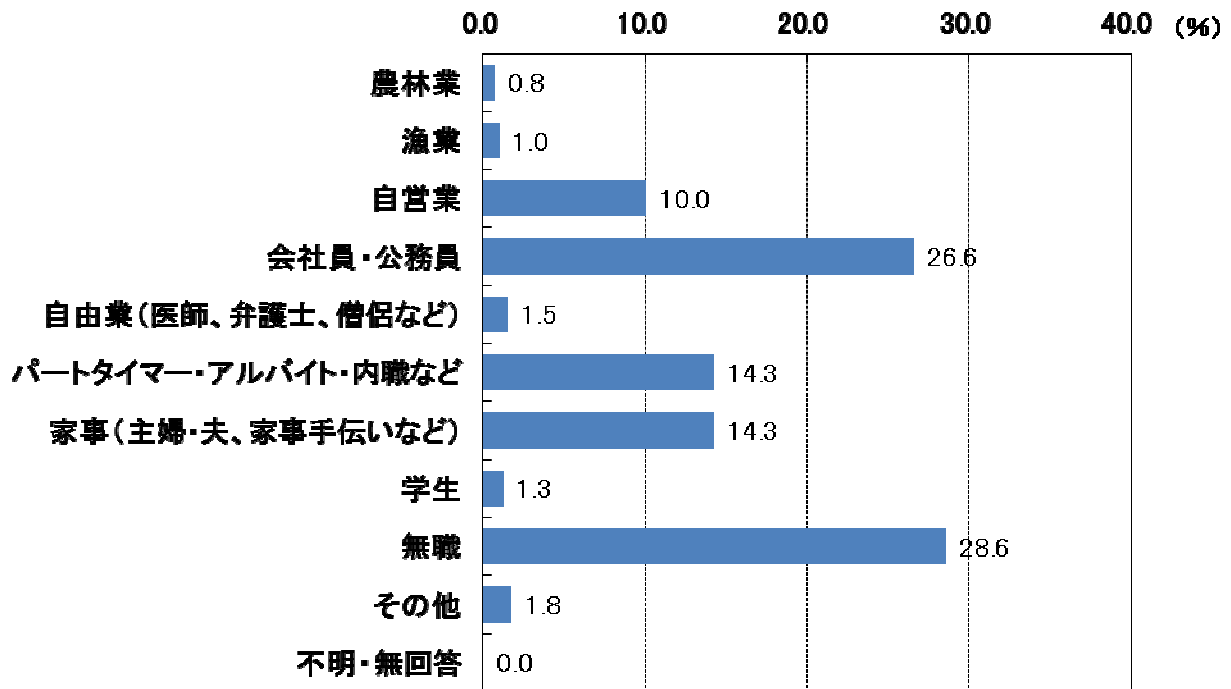
N = 399



問5 あなたの主な職業をお聞かせください。

回答者の職業は、「無職」が 28.6%、「会社員・公務員」が 26.6%、「パートタイマー・アルバイト・内職など」、「家事（主婦・夫、家事手伝いなど）」が 14.3%となっています。

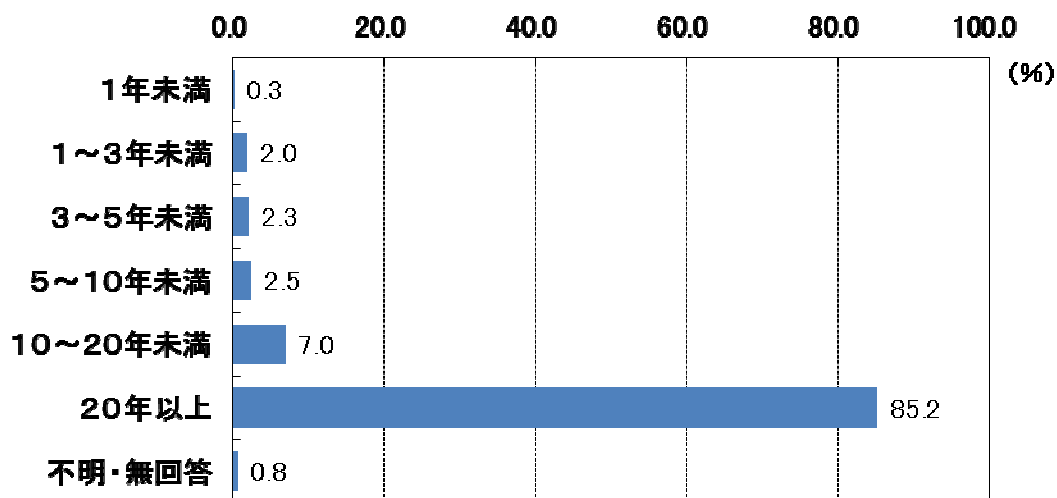
N = 399



問6 あなたが尾鷲市にお住まいになってから何年経過していますか。

回答者の居住年数は、「20年以上」が 85.2%と大半を占めています。

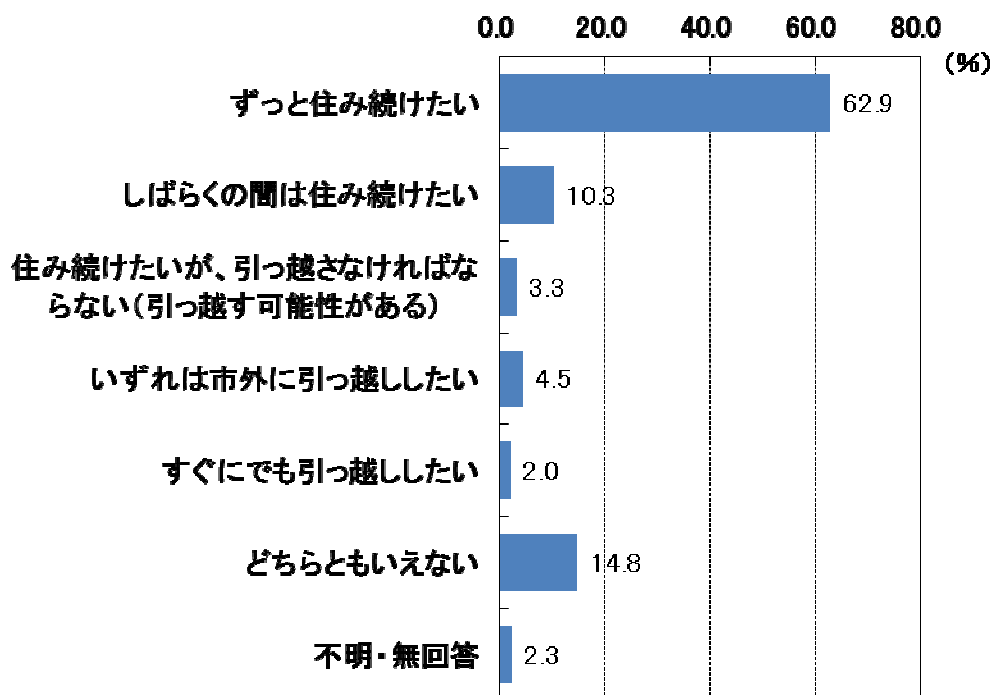
N = 399



2. 本市での生活について

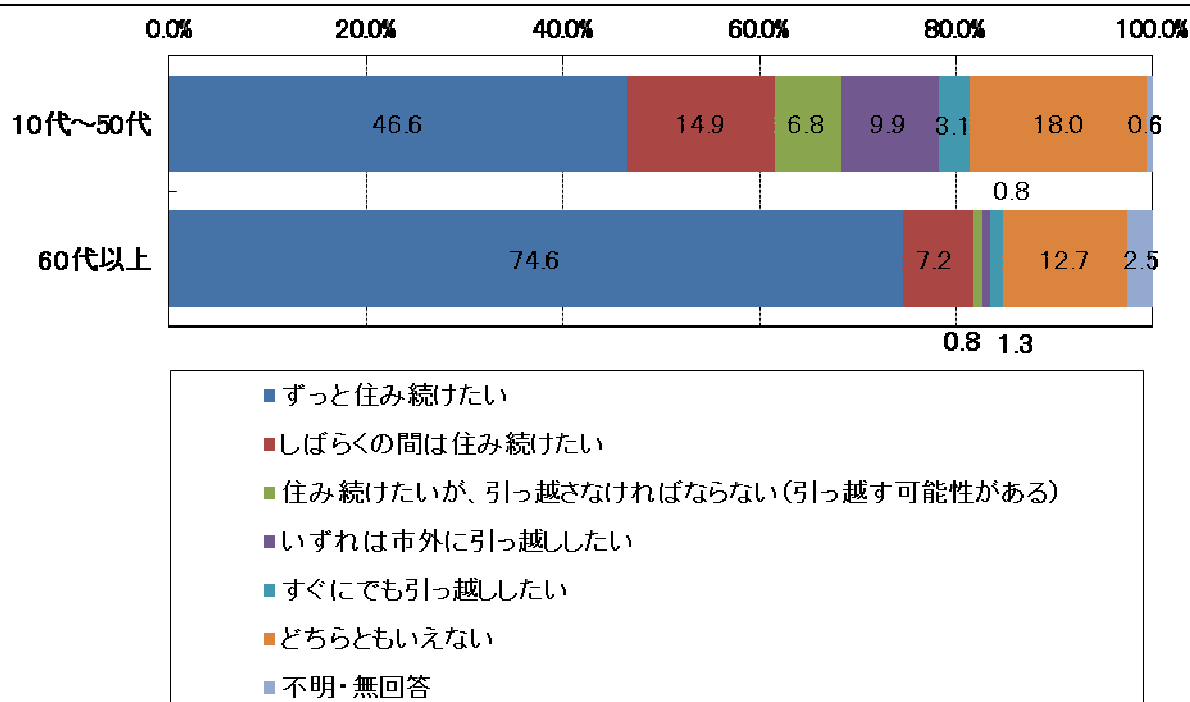
問7 あなたは、これからもずっと尾鷲市に住み続けたいとお考えですか。

定住意向は、「ずっと住み続けたい」が62.9%、「しばらくの間は住み続けたい」が10.3%とあり、「住み続けたい」と答えた方が合計で73.2%と4分の3近くを占めています。



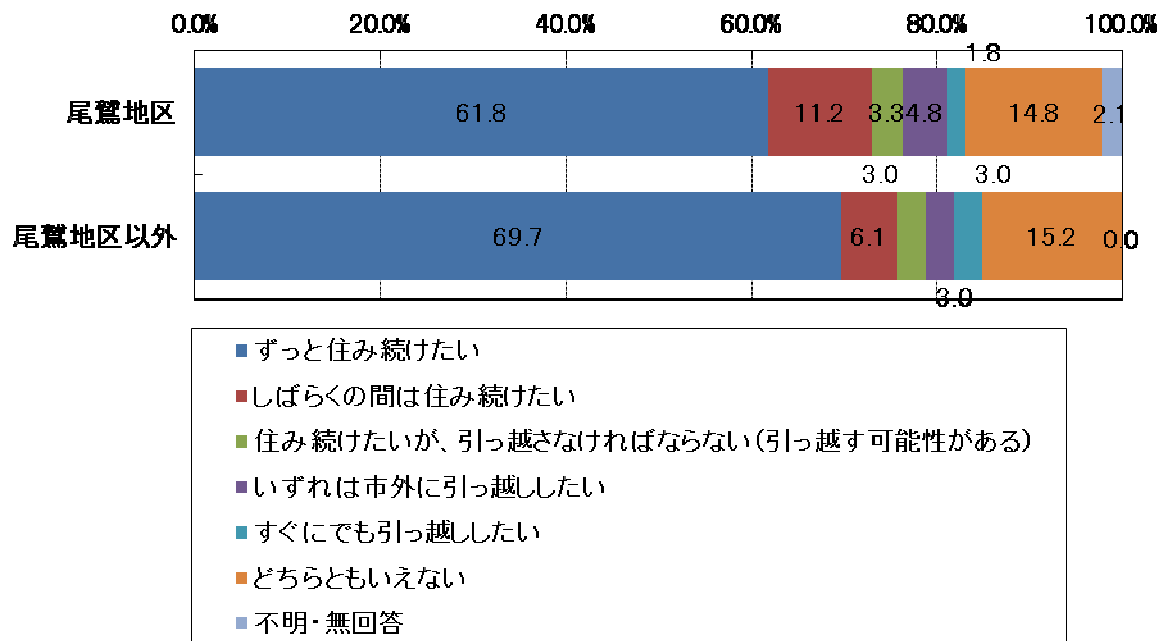
問7×年代

定住意向を年代別に見ると、「ずっと住み続けたい」は、「60代以上」では74.6%であるのに対し、「10代～50代」では46.6%であり、年代による差が見られます。



問7×居住地区

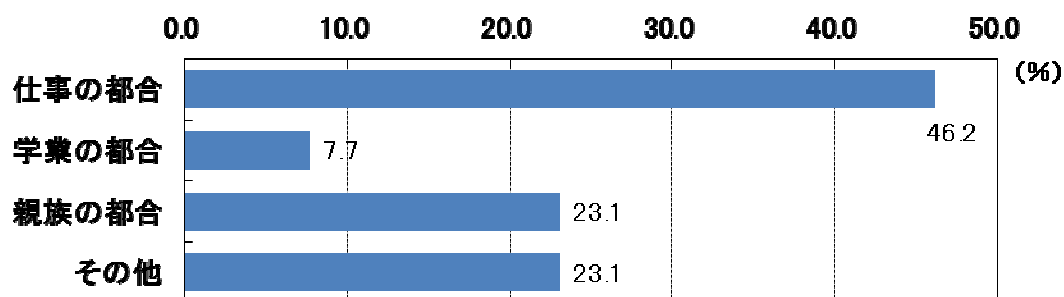
定住意向を地区別に見ると、「ずっと住みたい」は、「尾鷲地区以外」の方が高くなっています。



問8 【問7で「住みたいが、引っ越さなければならない(引っ越す可能性がある)」とお答えになった方におうかがいします。】引っ越す可能性がある理由は何ですか。

引っ越さなければならない理由は、「仕事の都合」が 46.2%で最も多く、次いで「親族の都合」、「その他」が 23.1%となっています。

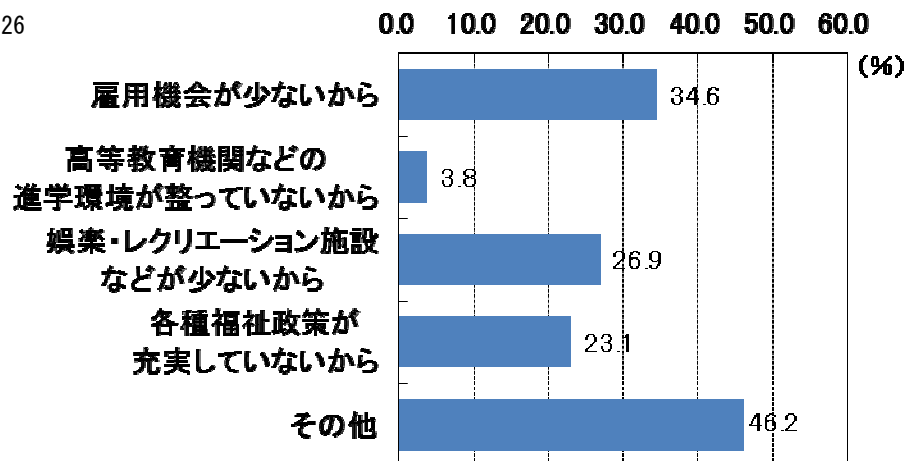
N=13



問9 【問7で「いずれは市外に引っ越したい」または「すぐにも引っ越したい」とお答えになった方におうかがいします。】市外に引っ越したい理由は何ですか。

引っ越したい理由は、「雇用機会が少ないから」が34.6%、「娯楽・レクリエーション施設などが少ないから」が26.9%となっています。

N=26



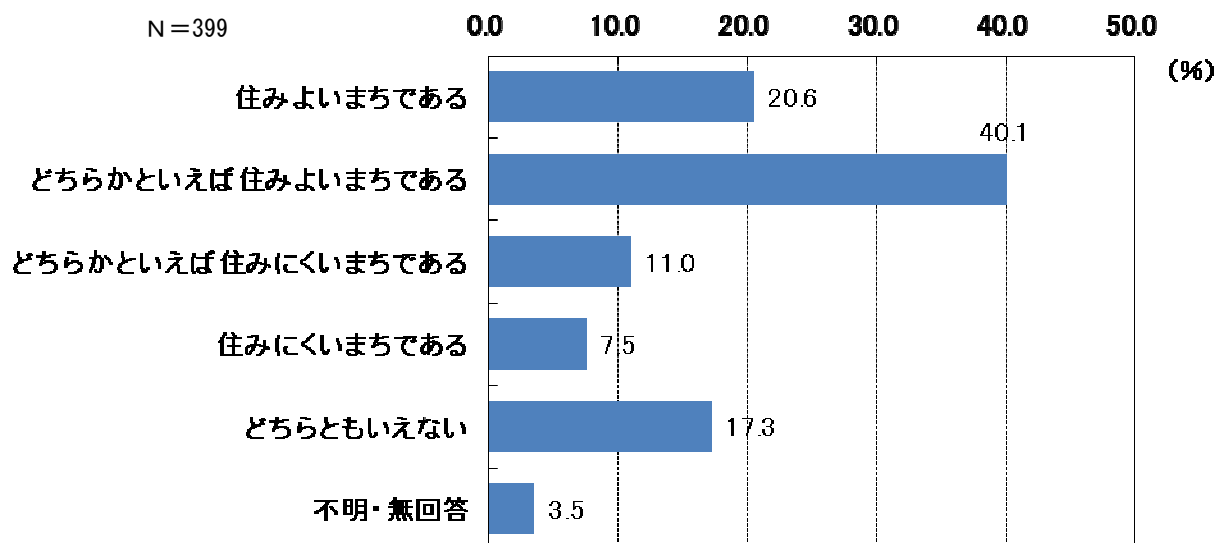
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
子供たちと住みたいから
人間関係が煩わしいから
病院への通院が不便だから
将来の不安があるから

問10 あなたは、尾鷲市を全体としてどのようにお考えですか。

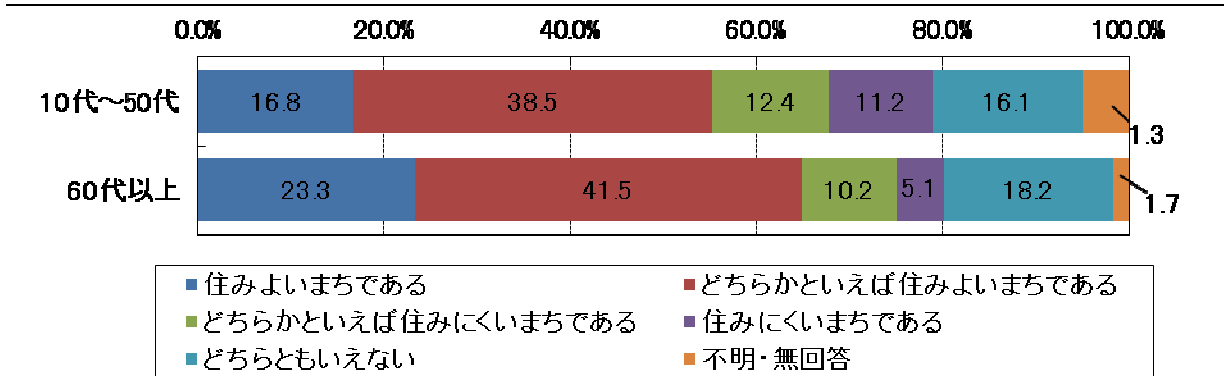
尾鷲市全体の評価として、「どちらかといえば住みよいまちである」が40.1%、「住みよいまちである」が20.6%となっており、合計で60.7%が「住みよいまち」としています。

N=399



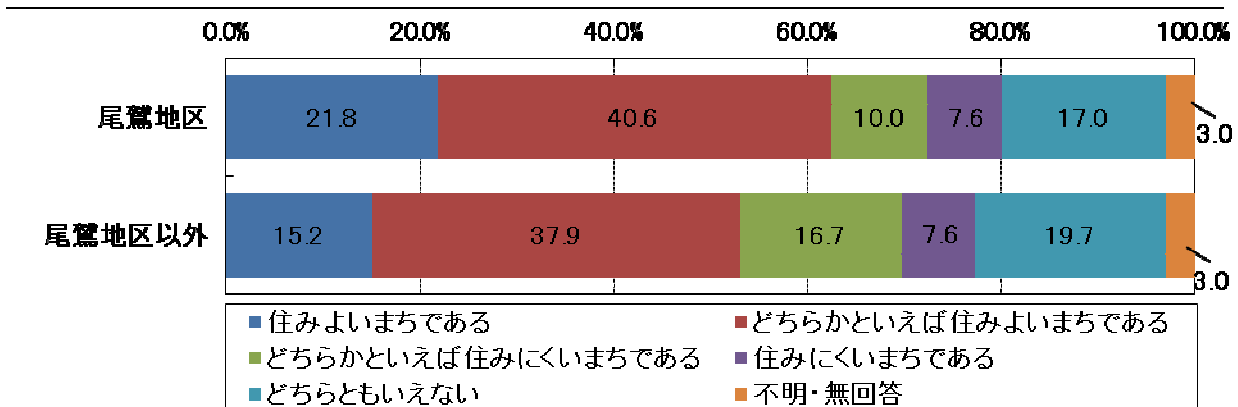
問 10×年代

尾鷲市全体の評価を年代別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「60代以上」では64.8%であるのに対し、「10代～50代」では55.3%であり、年代による差が見られます。



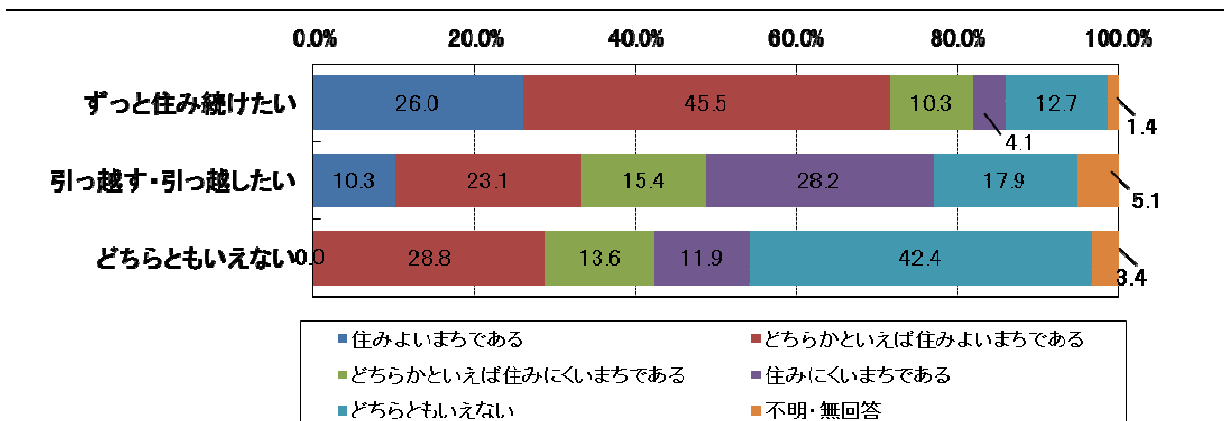
問 10×居住地区

尾鷲市全体の評価を地区別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、尾鷲地区で62.4%、尾鷲地区以外で53.1%であり、尾鷲地区の方が高くなっています。



問 10×定住意向

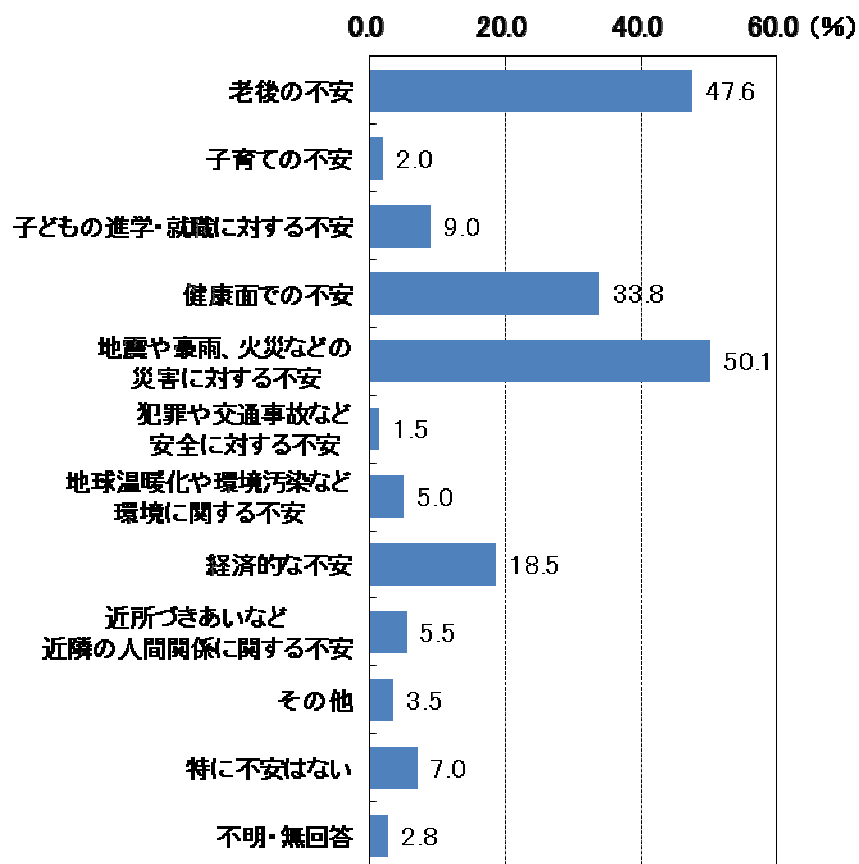
尾鷲市全体の評価を定住意向別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「ずっと住み続けたい」と答えた方では7割以上となっているのに対し、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方では約3割にとどまり、定住意向による差が見られます。



問 11 現在、あなたが不安に感じていることは何ですか。(複数回答)

現在不安に感じていることとして、「地震や豪雨、火災などの災害に対する不安」が 50.1%、「老後の不安」が 47.6%、「健康面での不安」が 33.8%となっています。

N=399

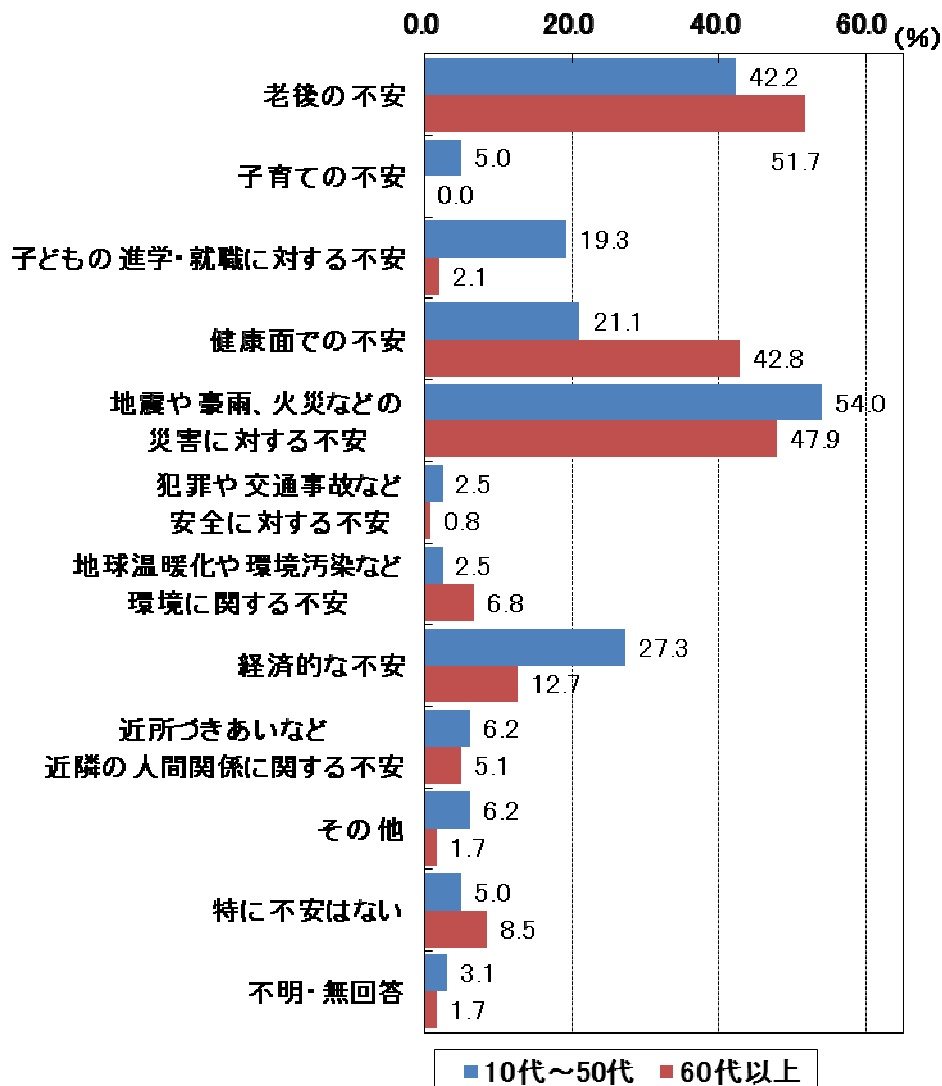


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
災害に対する不安
親の将来・健康に対する不安
人口減少に対する不安
公共交通に対する不安
子供の結婚に対する不安
市の将来に対する不安

問 11×年代

現在不安に感じていることを年代別に見ると、全年代で「老後の不安」や「地震や豪雨、火災などの災害に対する不安」の割合が高くなっており、次いで「10代～50代」では「経済的な不安」「健康面での不安」「子どもの進学・就職に対する不安」の割合が高く、「60代以上」では「健康面での不安」「経済的な不安」の割合が高くなっています。

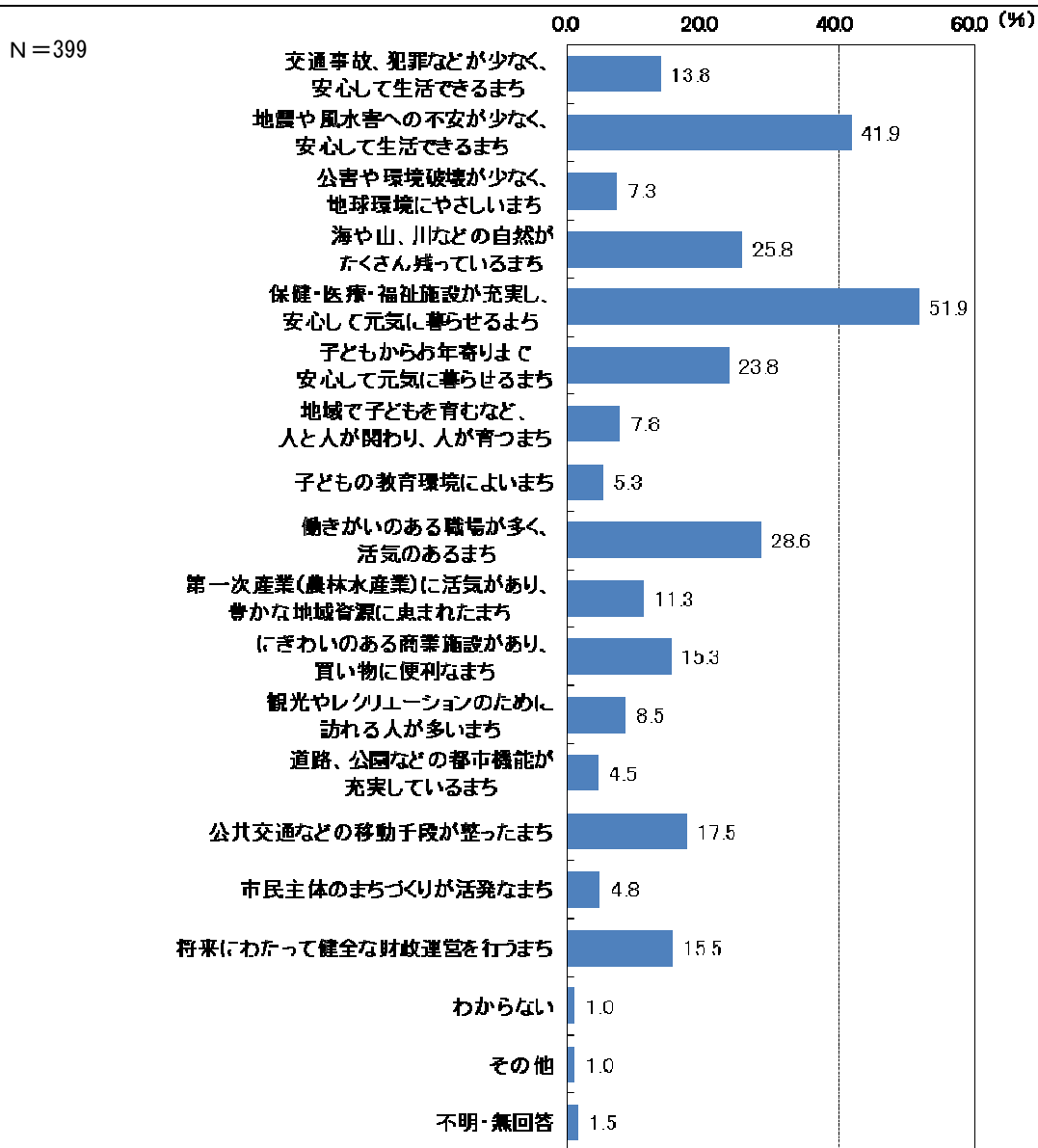


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

3. これからのまちづくりについて

問 12 あなたは、尾鷲市が将来どのようなイメージのまちになってほしいと思いますか。
(複数回答)

尾鷲市の将来イメージで希望するものとして、「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」が 51.9%、「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」が 41.9%、「働きがいのある職場が多く、活気のあるまち」が 28.6%となっています。

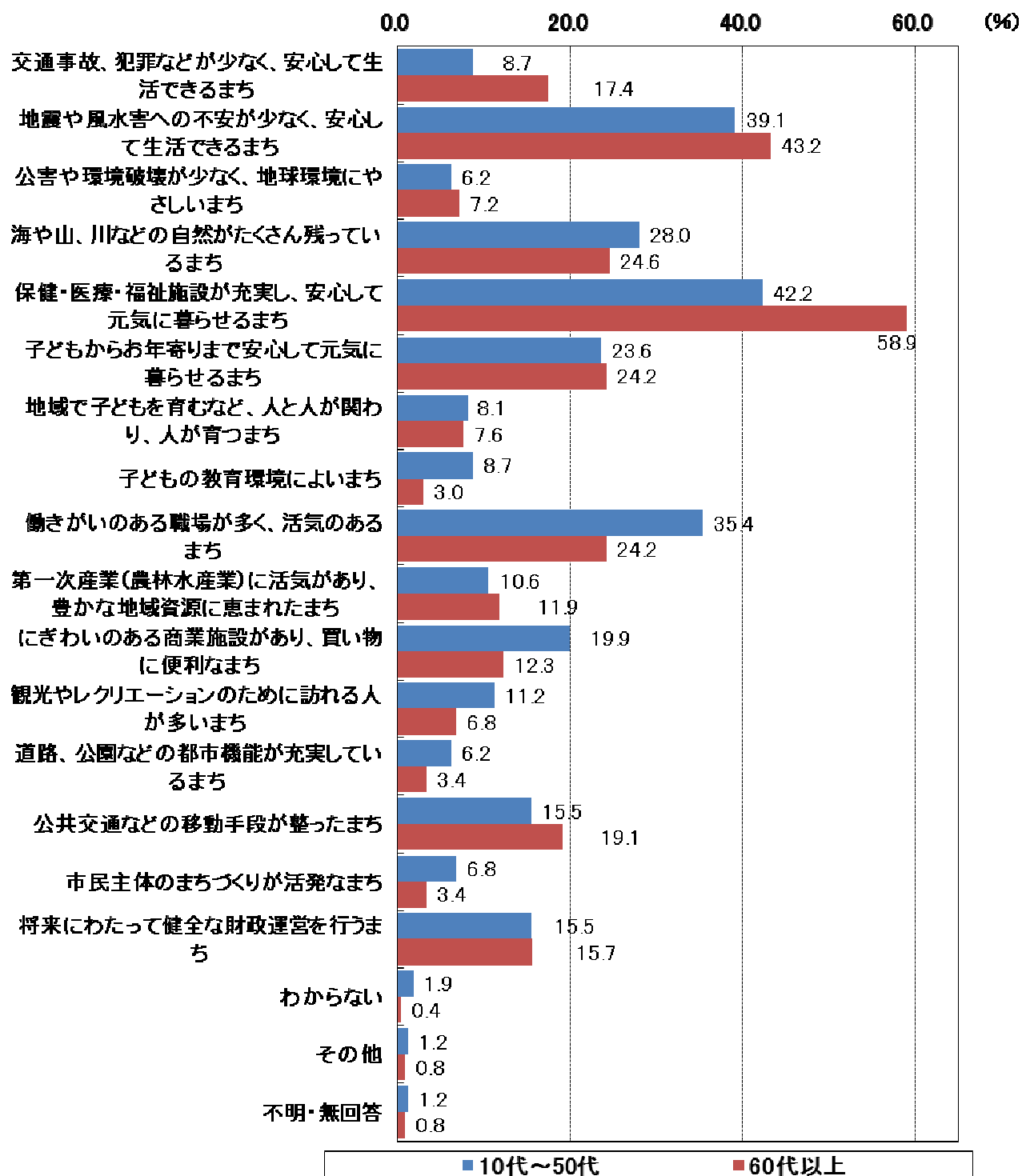


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
人口が増えるまち
リーダーシップが発揮されるまち

問 12×年代

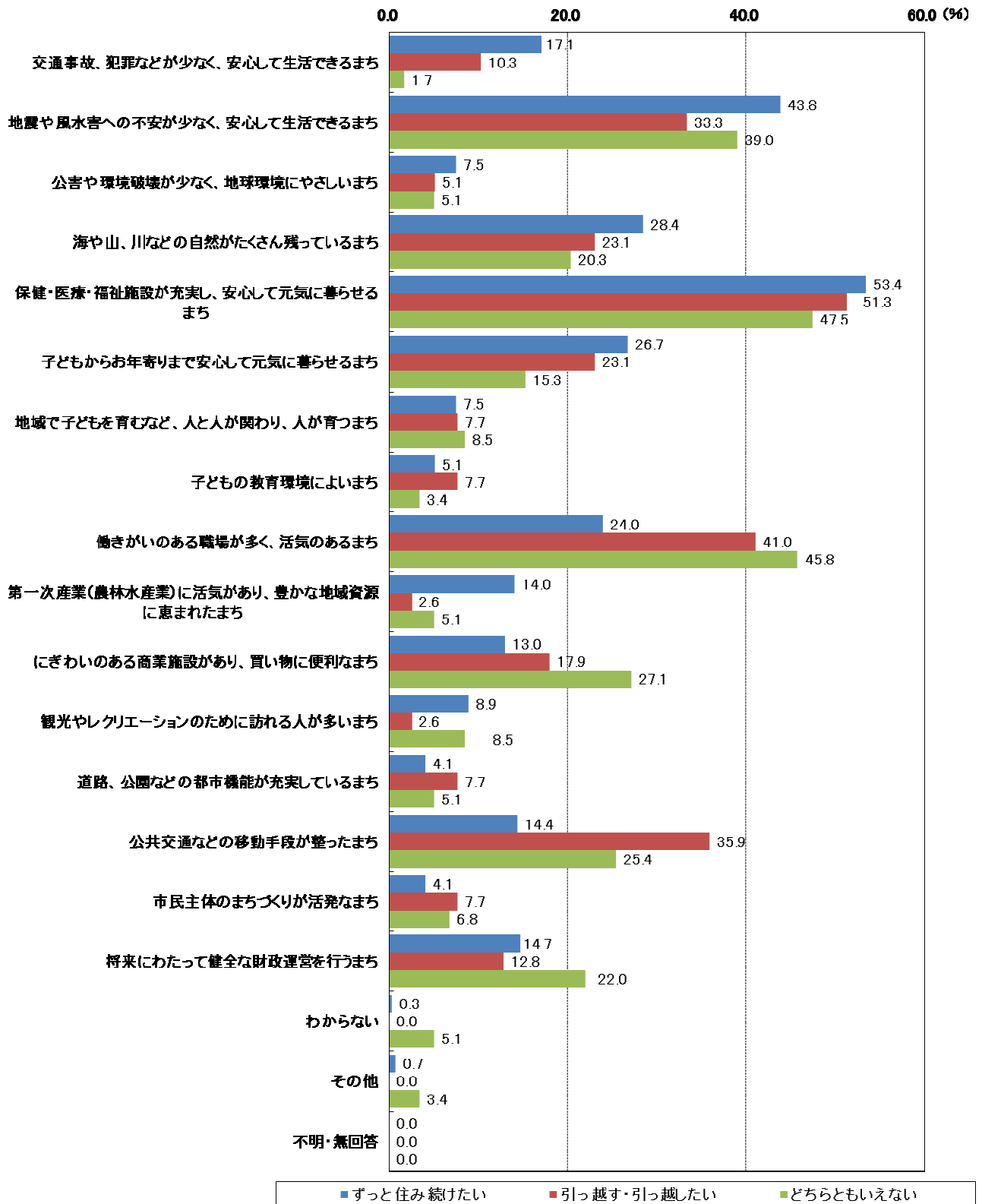
尾鷲市の将来イメージで希望するものを年代別に見ると、全年代で「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」の割合が高くなっており、次いで「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」の割合が高くなっており、次いで「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」の割合が高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 12×定住意向

尾鷲市の将来イメージで希望するものを定住意向別に見ると、「ずっと住み続けたい」「引っ越す・引っ越したい」「どちらともいえない」という、全ての定住意向において「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」の割合が最も高くなっています。

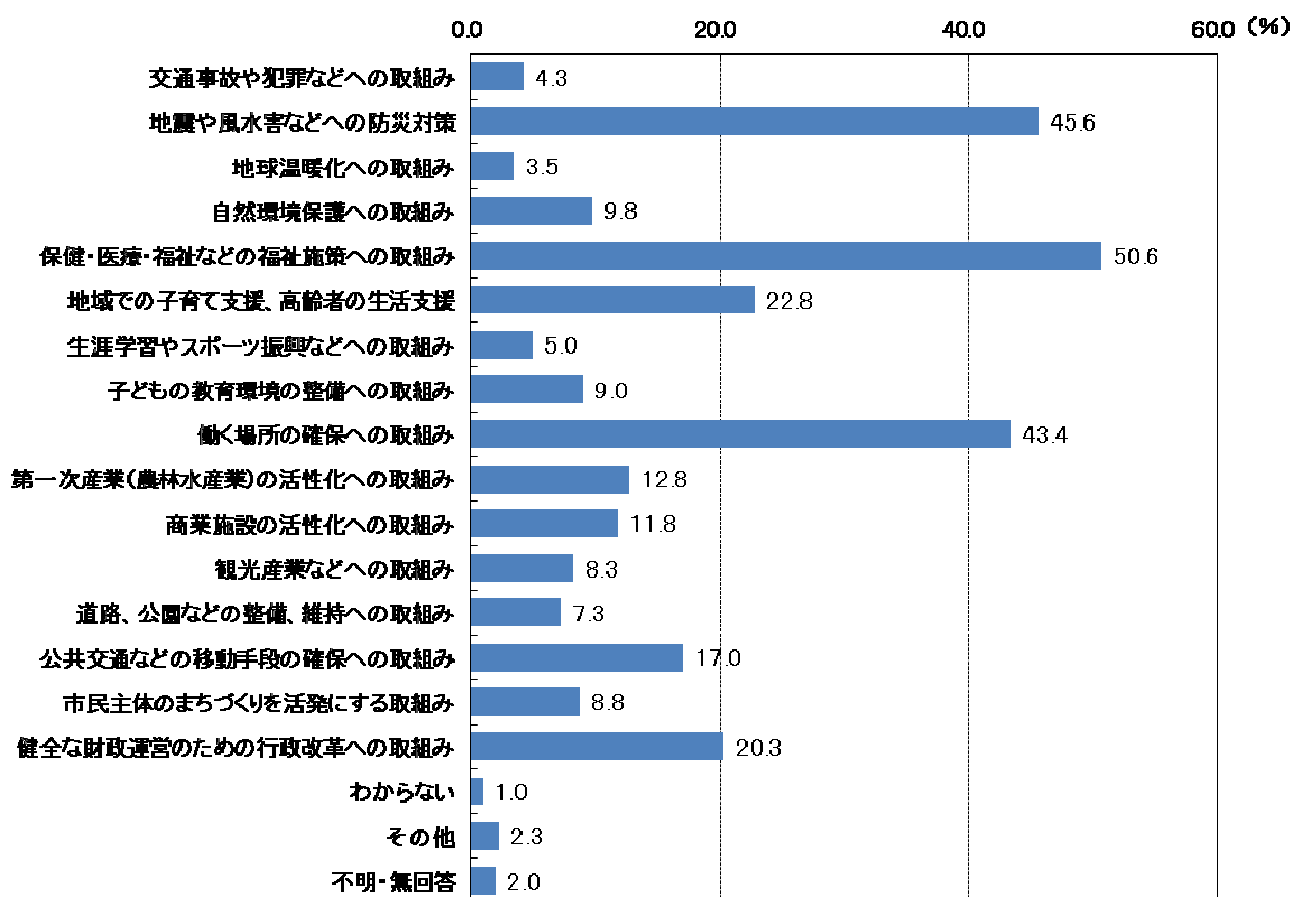


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 13 あなたは、尾鷲市がこれからまちづくりを進めるうえで、市が積極的に進めるべき取り組みは何であるとお考えですか。（複数回答）

これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みとして、「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」が56.4%、「働く場所の確保への取り組み」が45.8%、「地震や風水害などへの防災対策」が39.7%となっています。

N=399

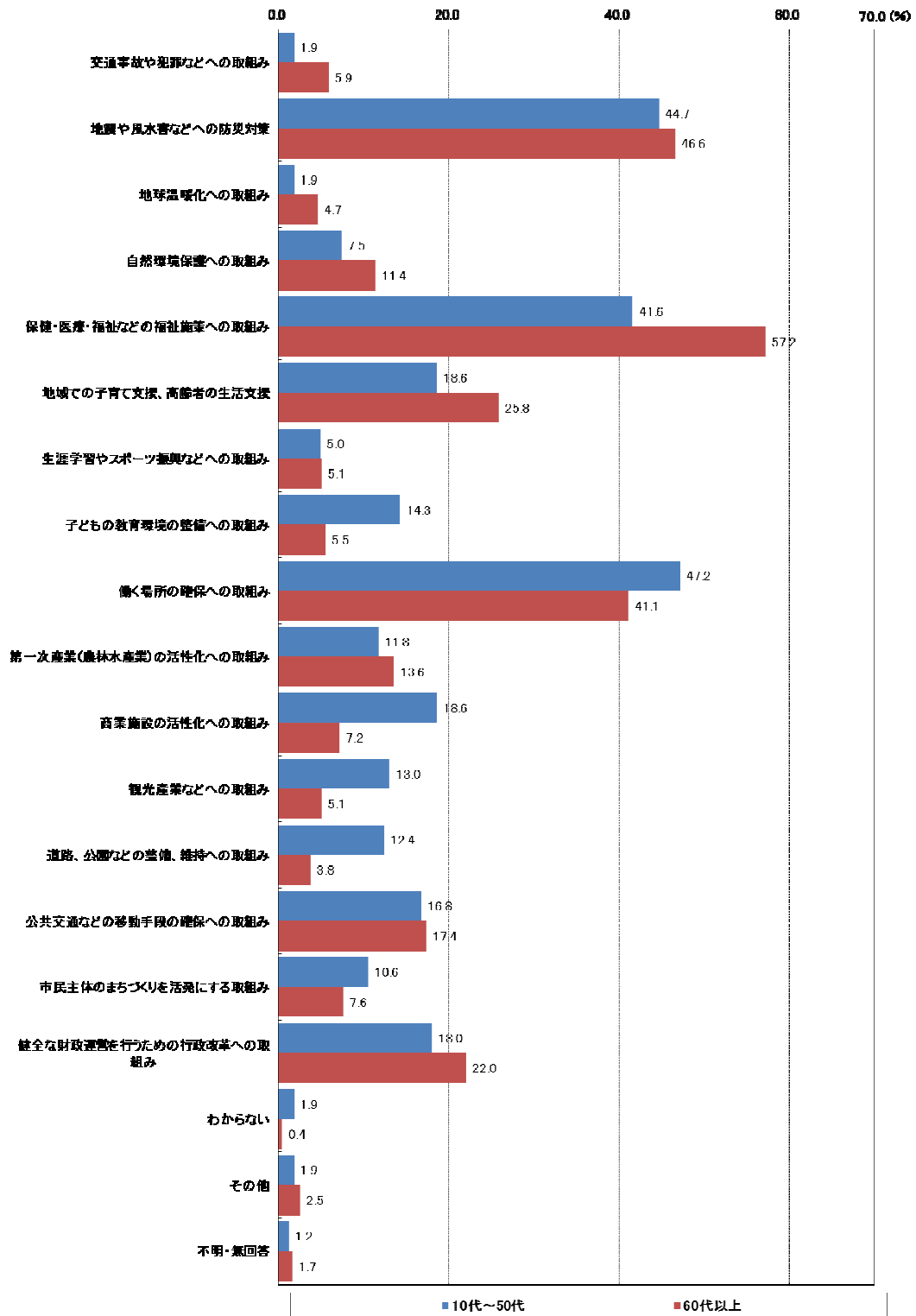


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
自治会の再編や復活のためのサポートをする取り組み
観光地としての環境整備の取り組み
市職員の教育への取り組み
弱い者いじめが無くなる取り組み
雇用を創出し、定住人口を増加させる取り組み
尾鷲市を愛する人を育成する取り組み
外からお金を稼ぎ、市内で循環させ経済を回す取り組み
多少のリスクをとっても新たな産業を誘致する取り組み

問 13×年代

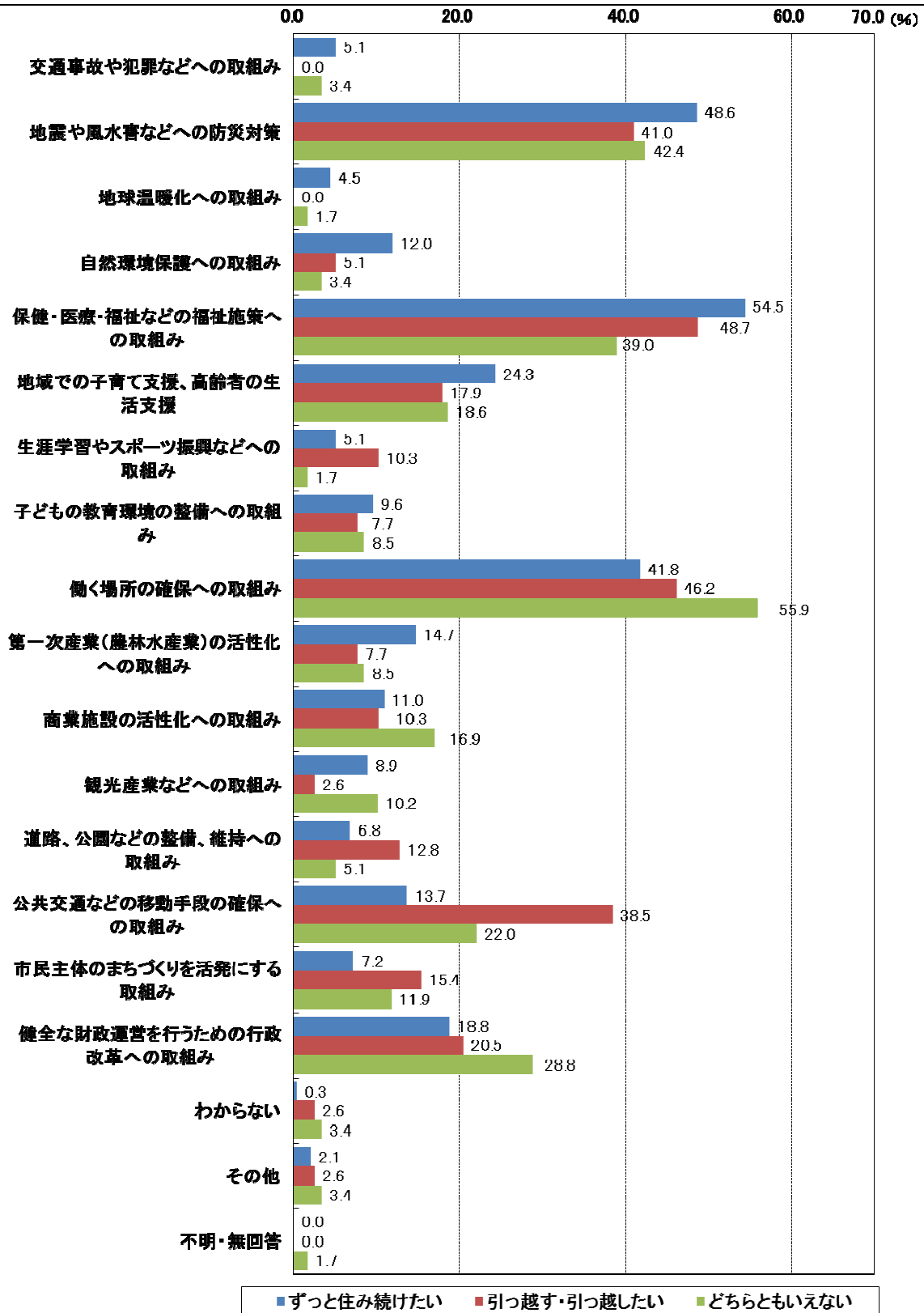
これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みを年代別に見ると、「10代～50代」では「働く場所の確保への取り組み」の割合が、「60代以上」では「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」の割合が最も高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 13×定住意向

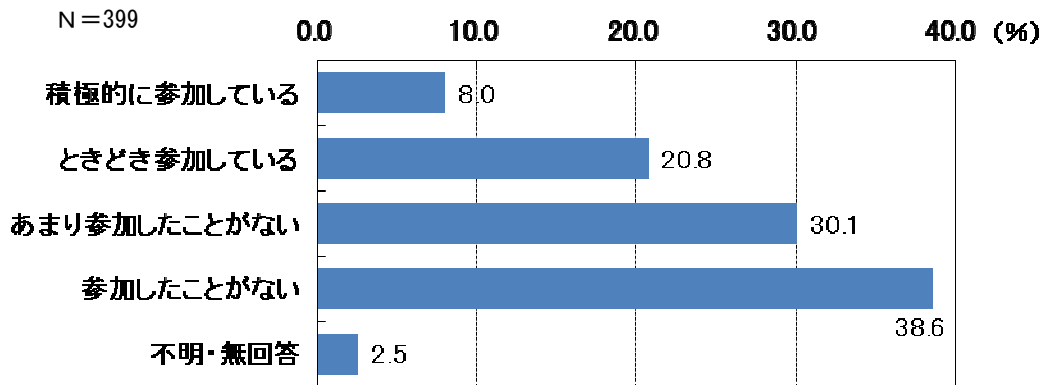
これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みを定住意向別に見ると、「ずっと住み続けたい」「引っ越す・引っ越したい」と答えた方では「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」の割合が、「どちらともいえない」と答えた方では「働く場所の確保への取り組み」の割合が最も高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

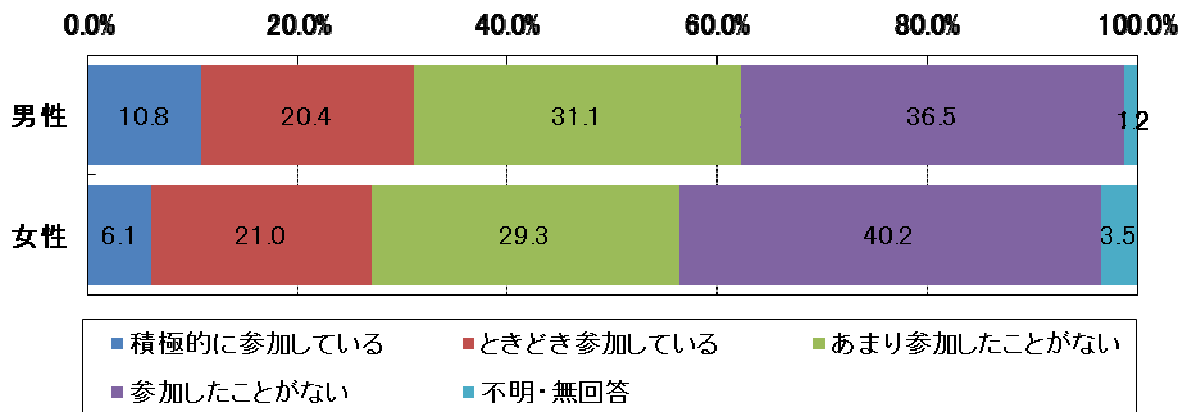
問 14 あなたは、地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがありますか。

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況として、「積極的に参加している」が 8.0%、「ときどき参加している」が 20.8%と、「参加している」層は 28.8%となっています。



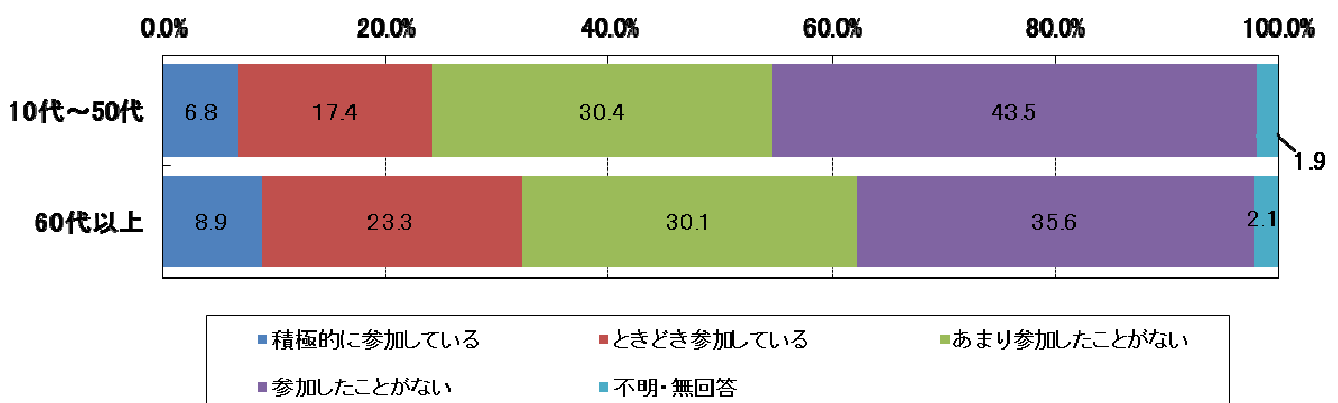
問 14×性別

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を性別ごとに見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計は、「男性」の方が高くなっています。



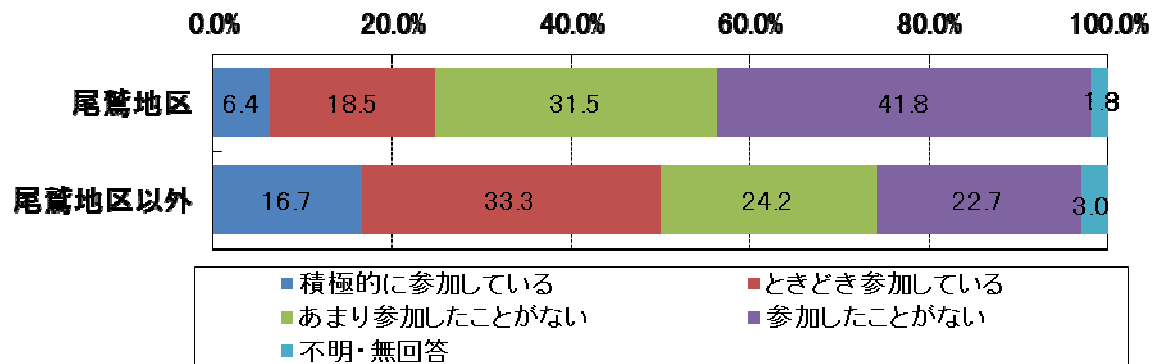
問 14×年代

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を年代別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「20代～50代」では2割台半ばであるのに対し、「60代以上」では約3割となっています。



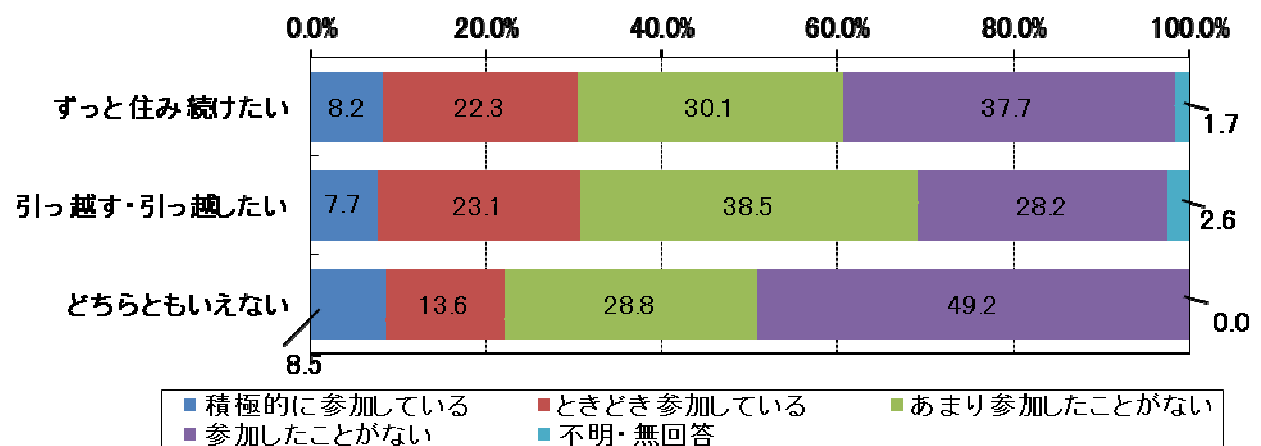
問 14×地区

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を地区別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「尾鷲地区」では2割程度であるのに対し、「尾鷲地区以外」では5割となっています。



問 14×定住意向

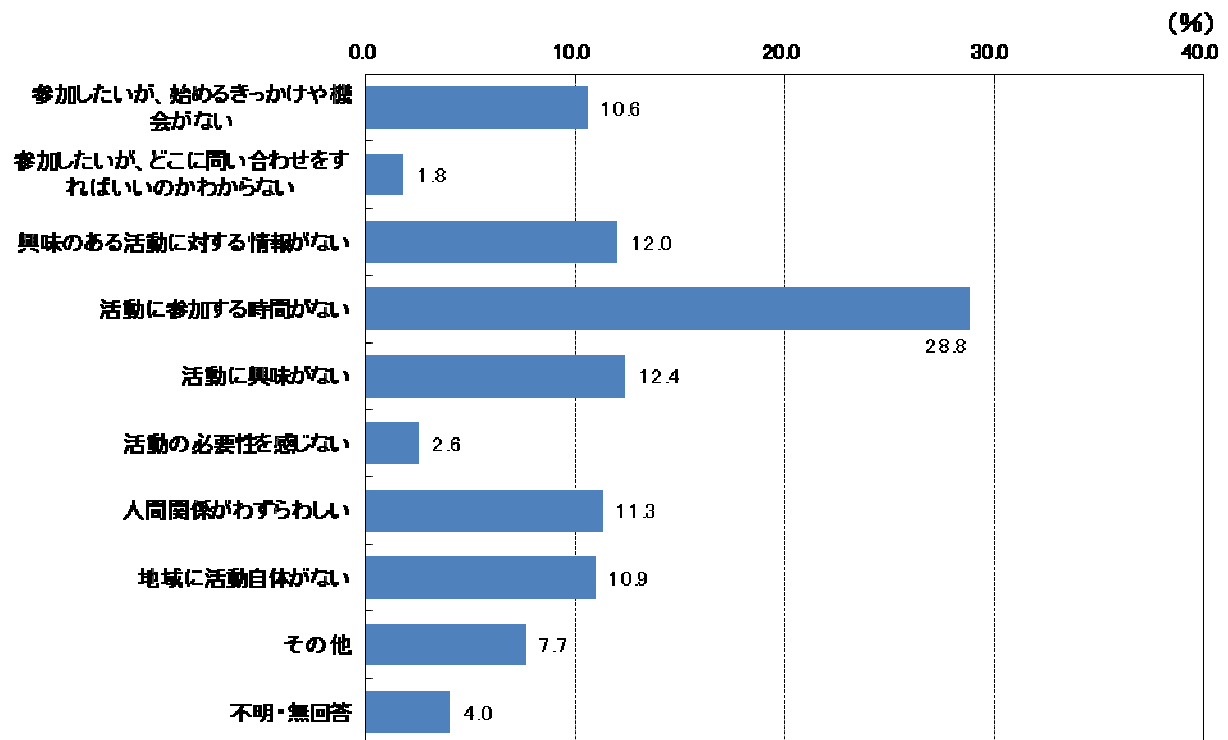
地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を定住意向別に見ると、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方に対し、「ずっと住み続けたい」「どちらともいえない」と答えた方の「積極的に参加している」、「ときどき参加している」の合計割合が高くなっています。



問 15 【問 14 で「あまり参加したことがない」または「参加したことがない」とお答えになった方におうかがいします。】「あまり参加したことがない」「参加したことがない」と回答された理由は何ですか。

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由として、「活動に参加する時間がない」が 32.6%、「人間関係がわずらわしい」が 13.3%、「活動に興味がない」が 11.9% となっています。

N=274

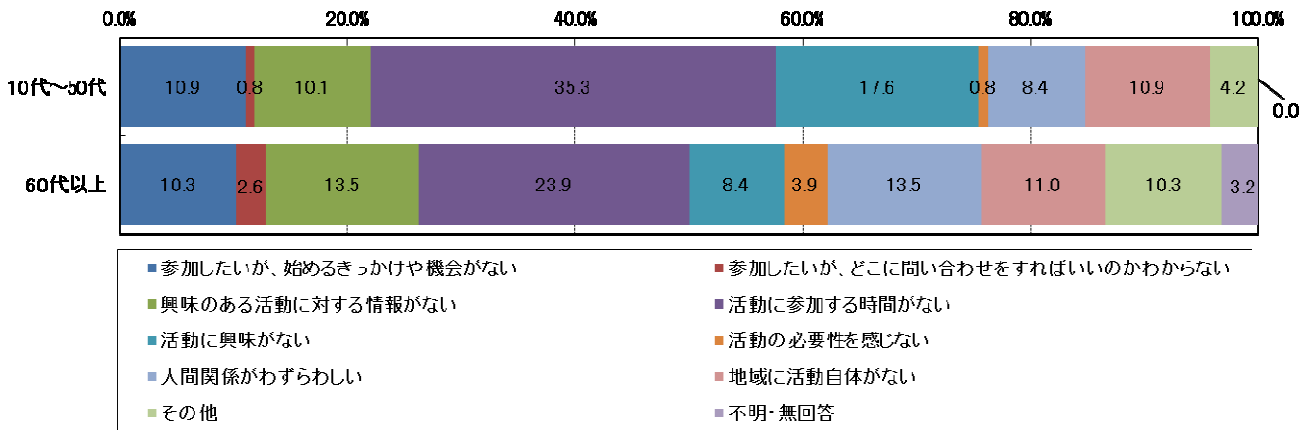


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
健康上の不安があるため
活動が必要なのはわかるが参加する気がおきない
ただ働きが嫌い
昔はしていたが忙しくなった・歳をとった
心の余裕がない

問 15×年代

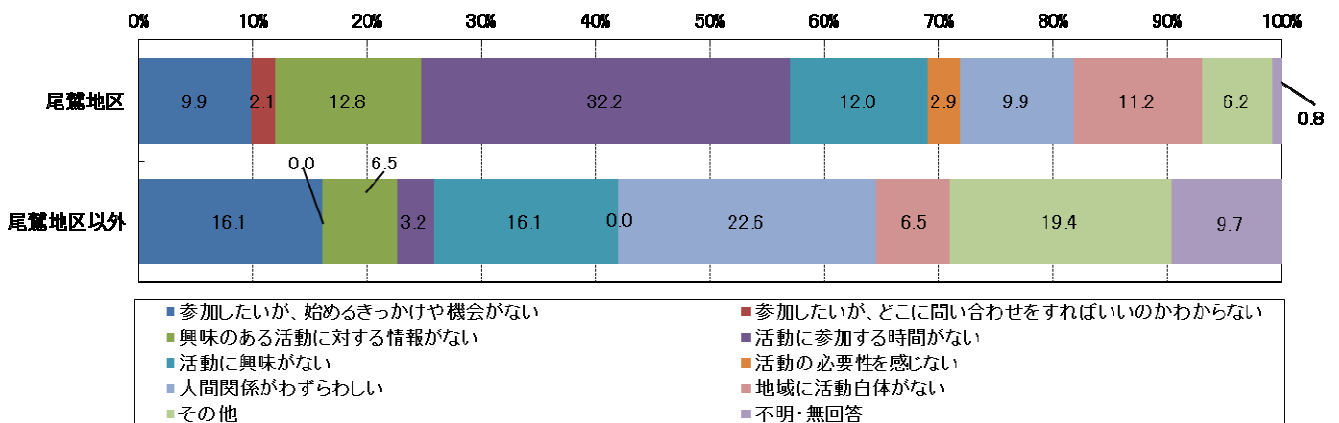
地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由を年代別に見ると、全年代で「活動に参加する時間がない」の割合が最も高く、次いで「10代～50代」では「活動に興味がない」の割合が、「60代以上」では「興味のある活動に対する情報が無い」、「人間関係がわずらわしい」の割合が高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

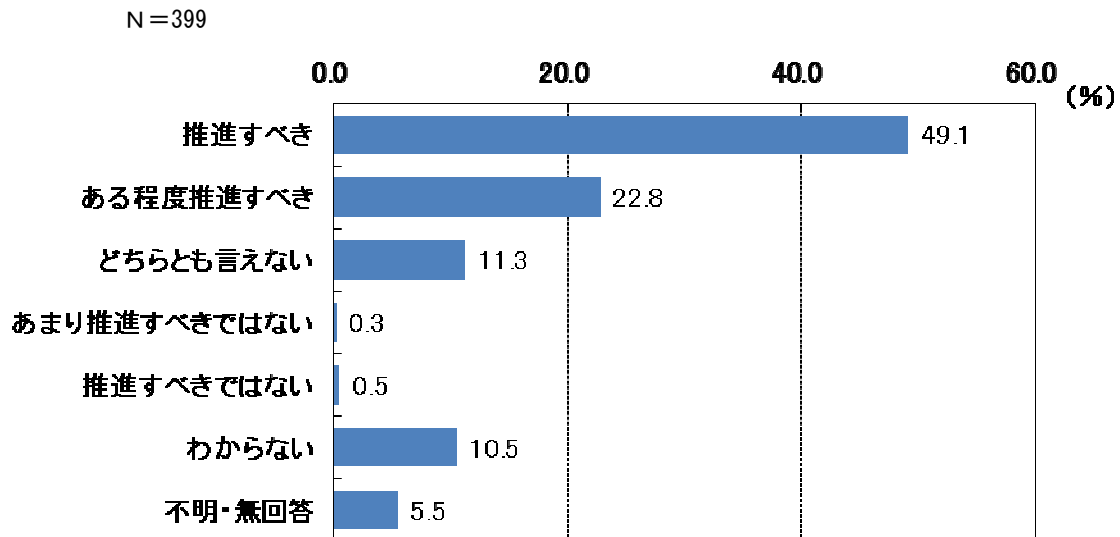
問 15×地区

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由を地区別に見ると、「尾鷲地区」で「活動に参加する時間がない」の割合が最も高く、次いで「興味のある活動に対する情報が無い」の割合が、「尾鷲地区以外」では「人間関係がわずらわしい」の割合が最も高く、次いで「その他」を除き「参加したいが、始めるきっかけや機会がない」や「活動に興味がない」が高くなっています。



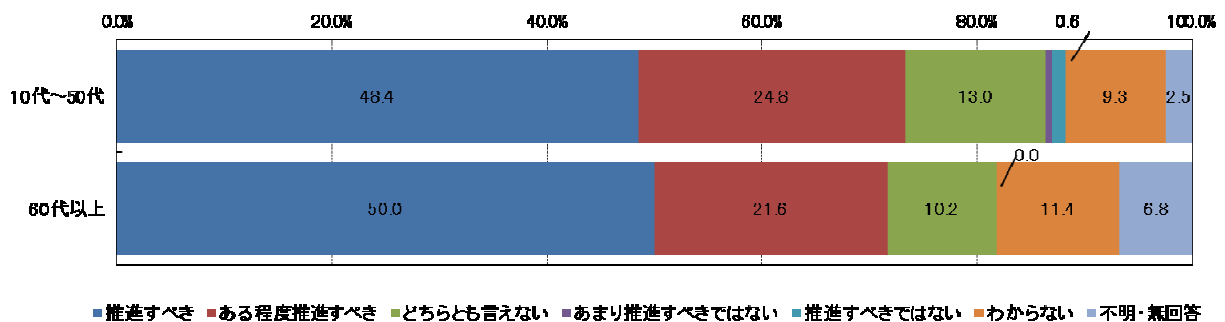
問 16 尾鷲市ではこれから、市役所を含む市民みんなで地域の課題を解決するために、目標を共有して、その目標達成のために取り組むことを進めたいと考えています。このことについてあなたはどのように考えますか。

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて、「推進すべき」が49.1%、「ある程度推進すべき」が22.8%と、「推進」した方が良いとの回答が7割以上となっています。



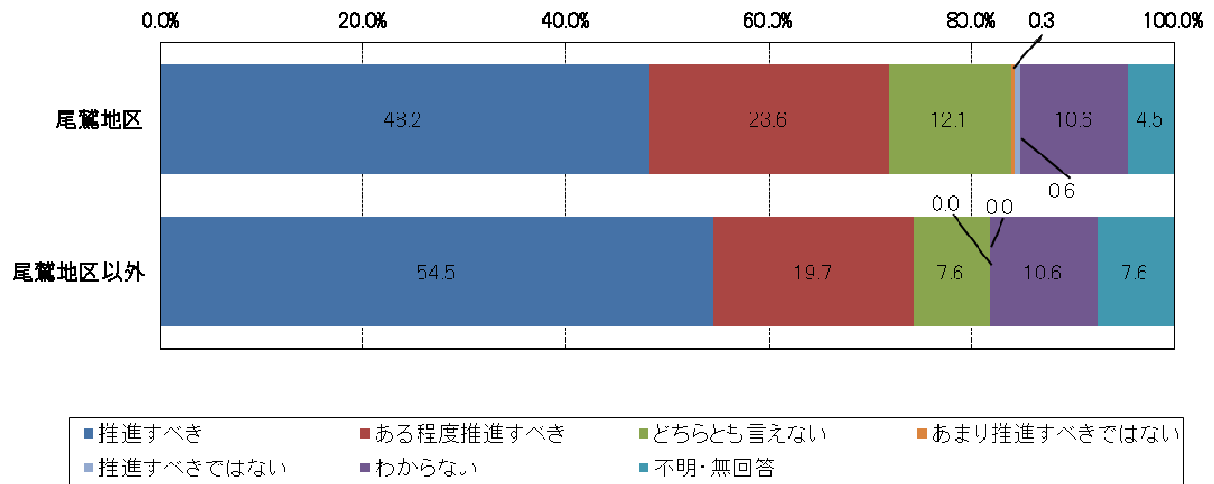
問 16×年代

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて年代別に見ると、「推進すべき」「ある程度推進すべき」と答えた方は、全年代で7割以上となっています。



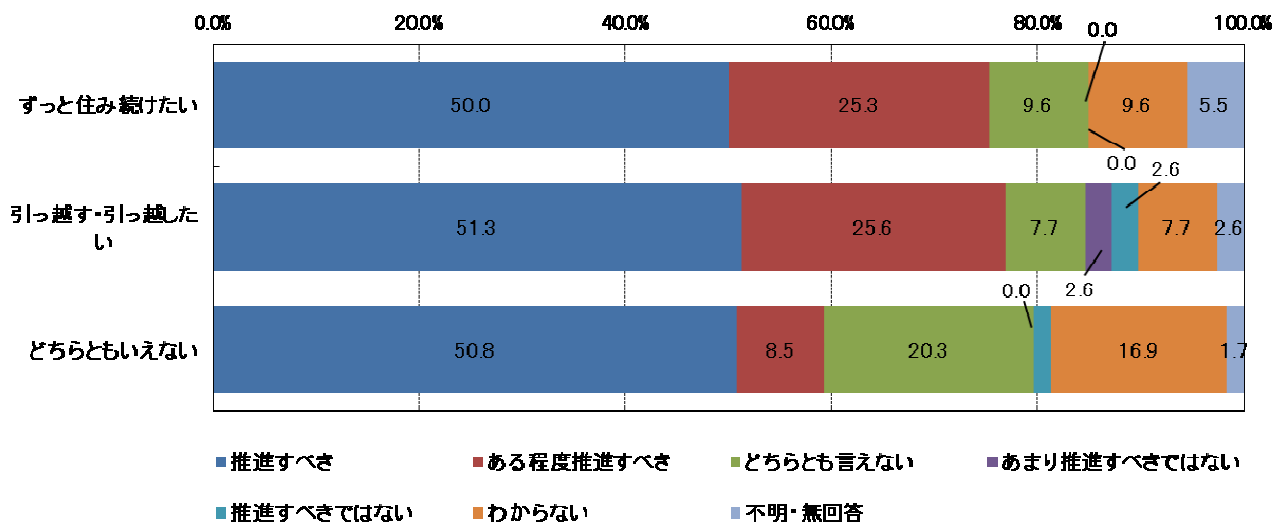
問 16×地区

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて地区別に見ると、「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計では、「尾鷲地区以外」のほうが高くなっています。



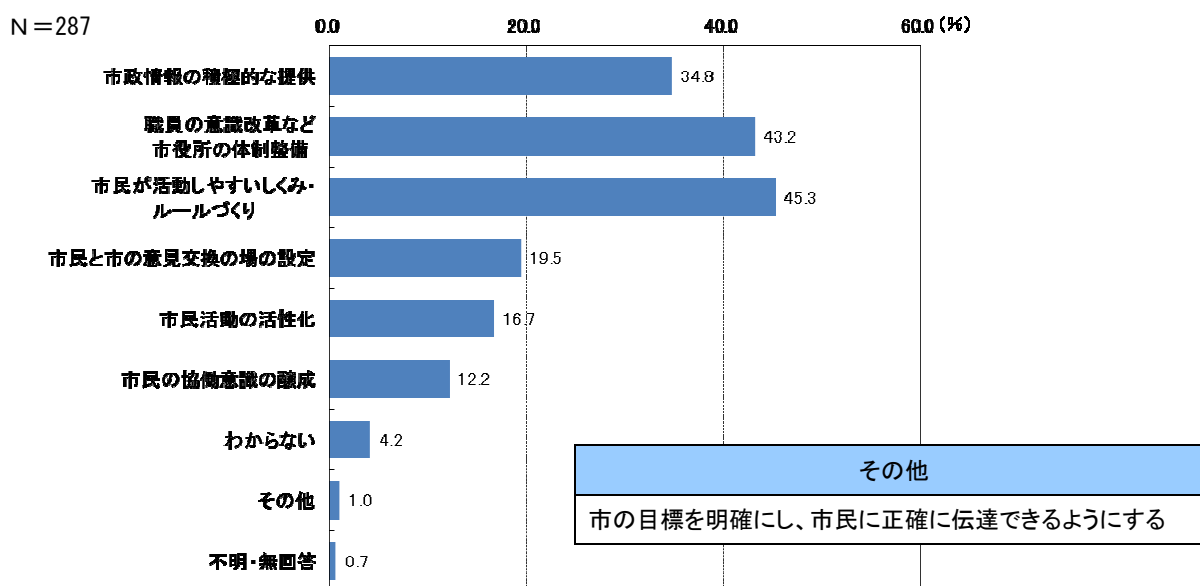
問 16×定住意向

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて定住意向別に見ると、「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計では、「ずっと住みたい」「引っ越す・引っ越したい」共に同程度となっています。



問 17 【問 16 で「推進すべき」または「ある程度推進すべき」とお答えになった方におうかがいします。】市民との協働のまちづくりを進めるうえで、あなたは、市がどのようなことに取り組むべきだと考えますか。（複数回答）

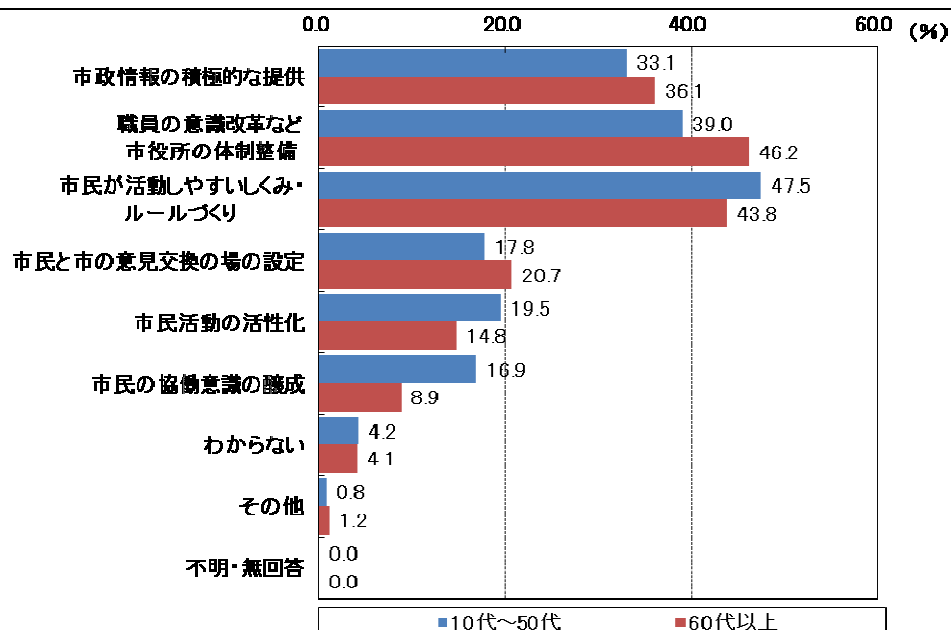
市民との協働のまちづくりを進めるうえで市が取り組むべきこととして、「市民が活動しやすいしくみ・ルールづくり」が 45.3%、「職員の意識改革など市役所の体制整備」が 43.2% となっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 17×年代

市民との協働のまちづくりを進めるうえで市が取り組むべきことを年代別に見ると、「10代～50代」では「市民が活動しやすいしくみ・ルールづくり」が 47.5%、「60代以上」では「職員の意識改革など市役所の体制整備」が 46.2%と最も高くなっています。

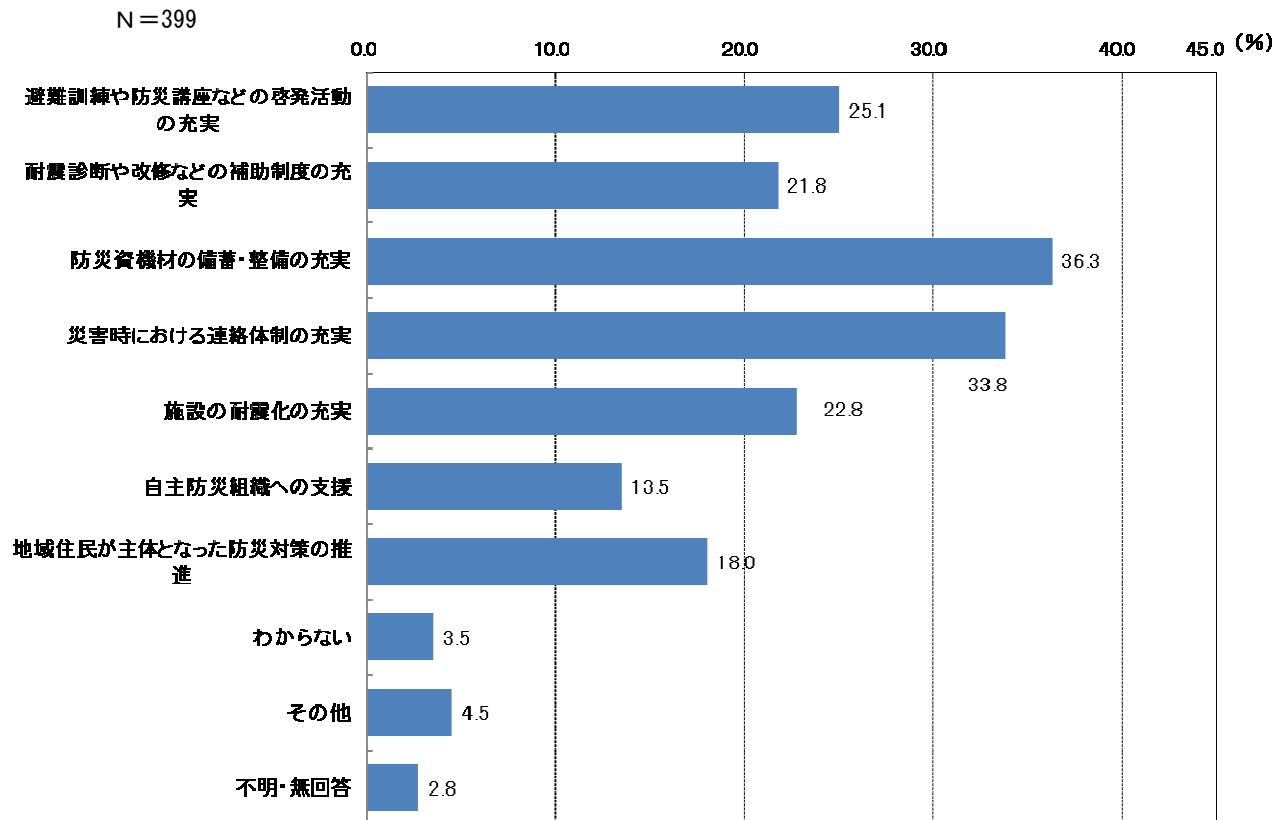


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【安全】

問 18 あなたは、地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、「防災資機材の備蓄・整備の充実」が36.3%、「災害時における連絡体制の充実」が33.8%、「避難訓練や防災講座などの啓発活動の充実」が25.1%となっています。

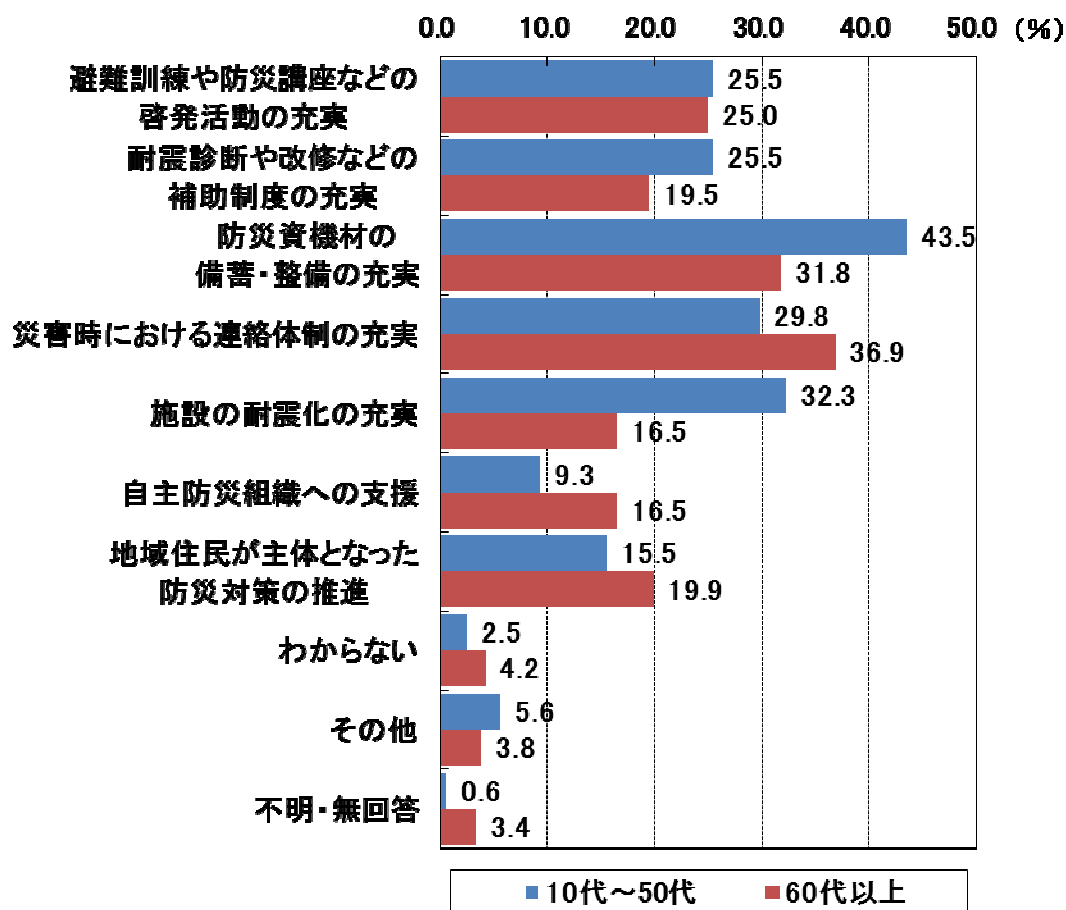


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
災害への対策を明示し、本当に必要な対策は何なのかを十分検討すること
避難タワー建設・道路の整備など、避難経路や避難場所の確保・充実
道路や登り面などに、津波高のラインを付ける
自分や家族の命は基本的に他を当てにせず自分たちで考える
公共施設を高台に移転・整備し、災害時の食料品や肥料品等備蓄する
自然災害は人間が何をしようと意味がない
空き家や倒壊する恐れのある建物の撤去

問 18×年代

災害による被害防止策を年代別に見ると、「10～50代」では「防災資器材の備蓄・整備の充実」の割合が、「60代以上」では「災害時における連絡体制の充実」の割合が高くなっています。

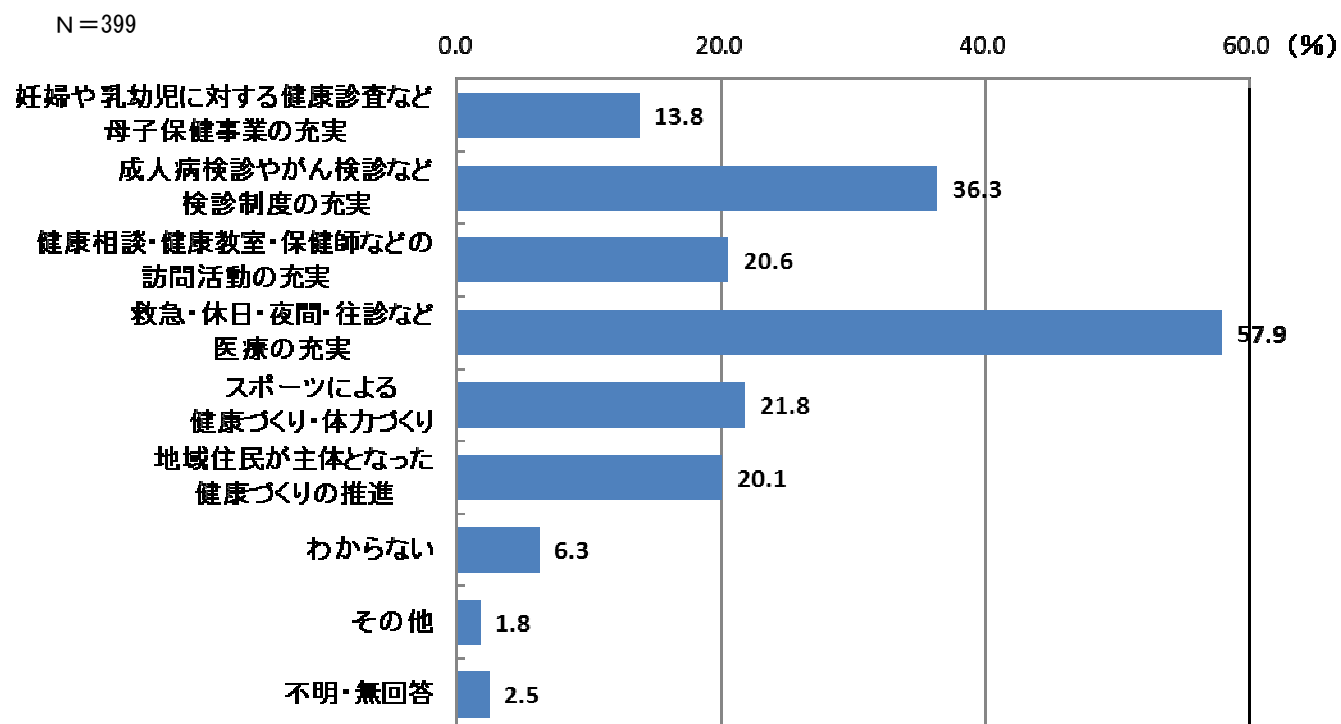


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【健康づくり】

問 19 あなたは、健康づくりを充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答）

健康づくりの充実策として、「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」が57.9%、「成人病検診やがん検診など検診制度の充実」が36.3%、「スポーツによる健康づくり・体力づくり」が21.8%となっています。

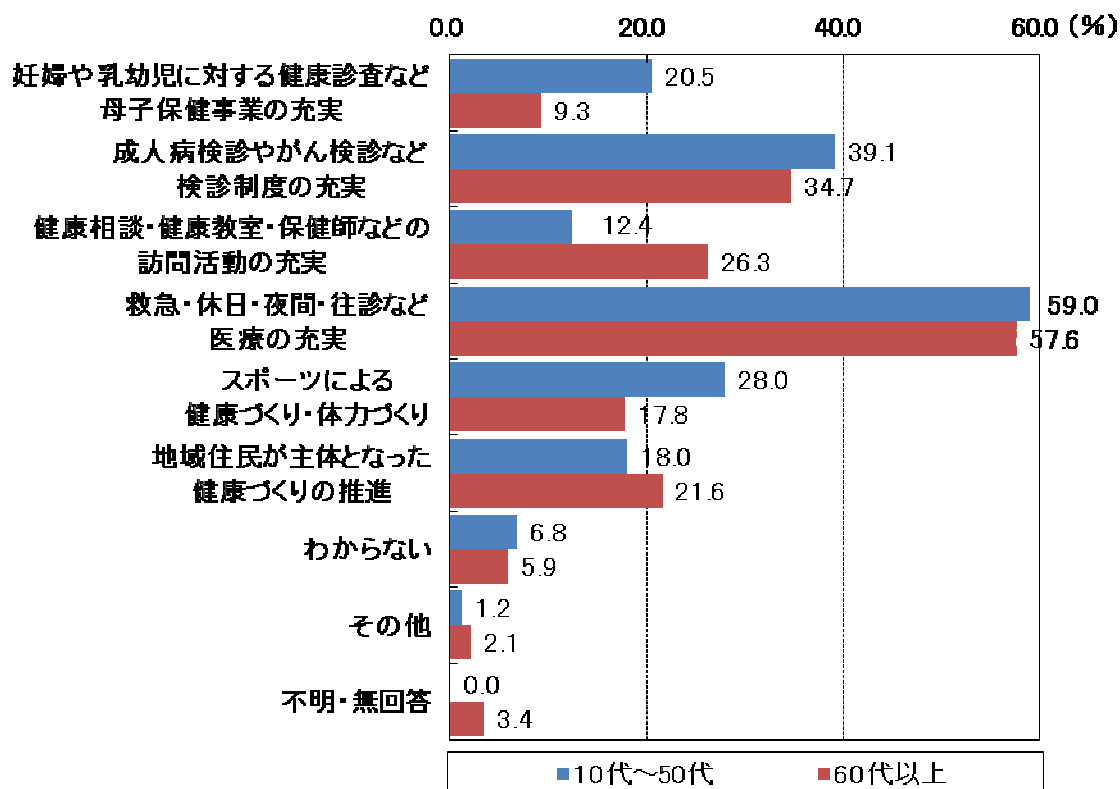


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
介護予防
器具や設備の充実
公園やサイクリングロードなどの充実
健康センターの整備
スポーツ施設の充実

問 19×年代

健康づくりの充実策を年代別に見ると、全年代で「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」の割合が最も高く、次いで「成人病検診やがん検診など検診制度の充実」の割合が高くなっています。



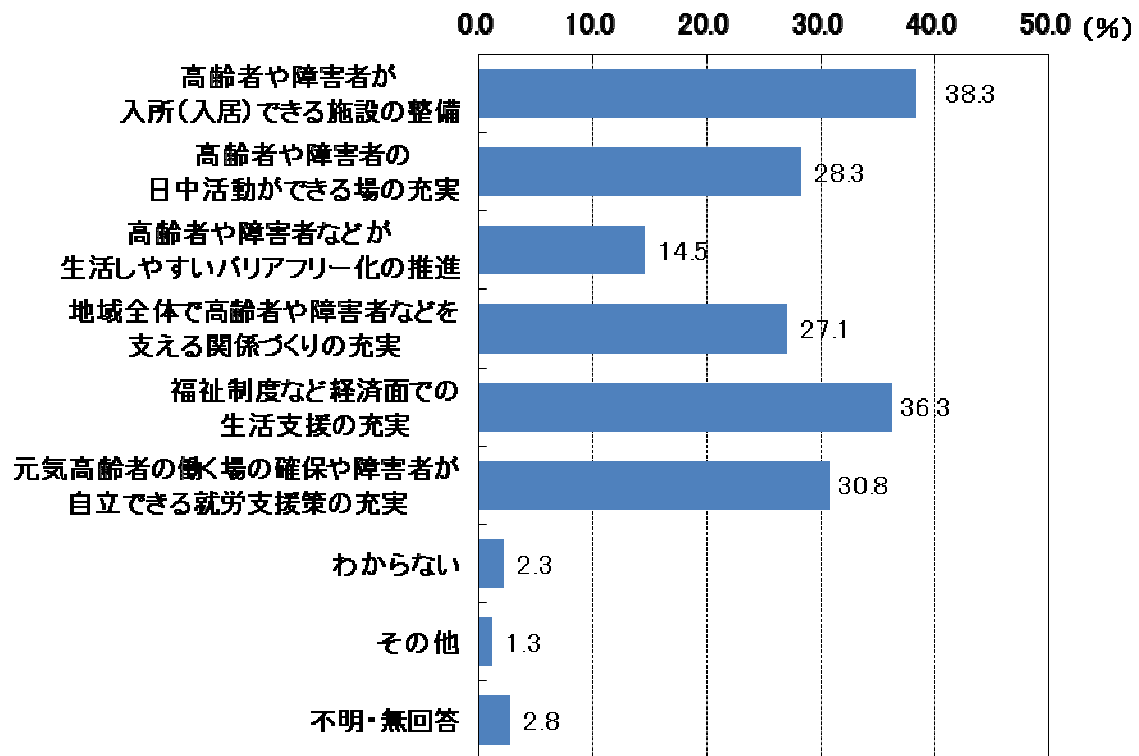
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【福祉】

問 20 あなたは、福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

福祉の充実策として、「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」が38.3%、「福祉制度など経済面での生活支援の充実」が36.3%、「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実」が30.8%となっています。

N=399

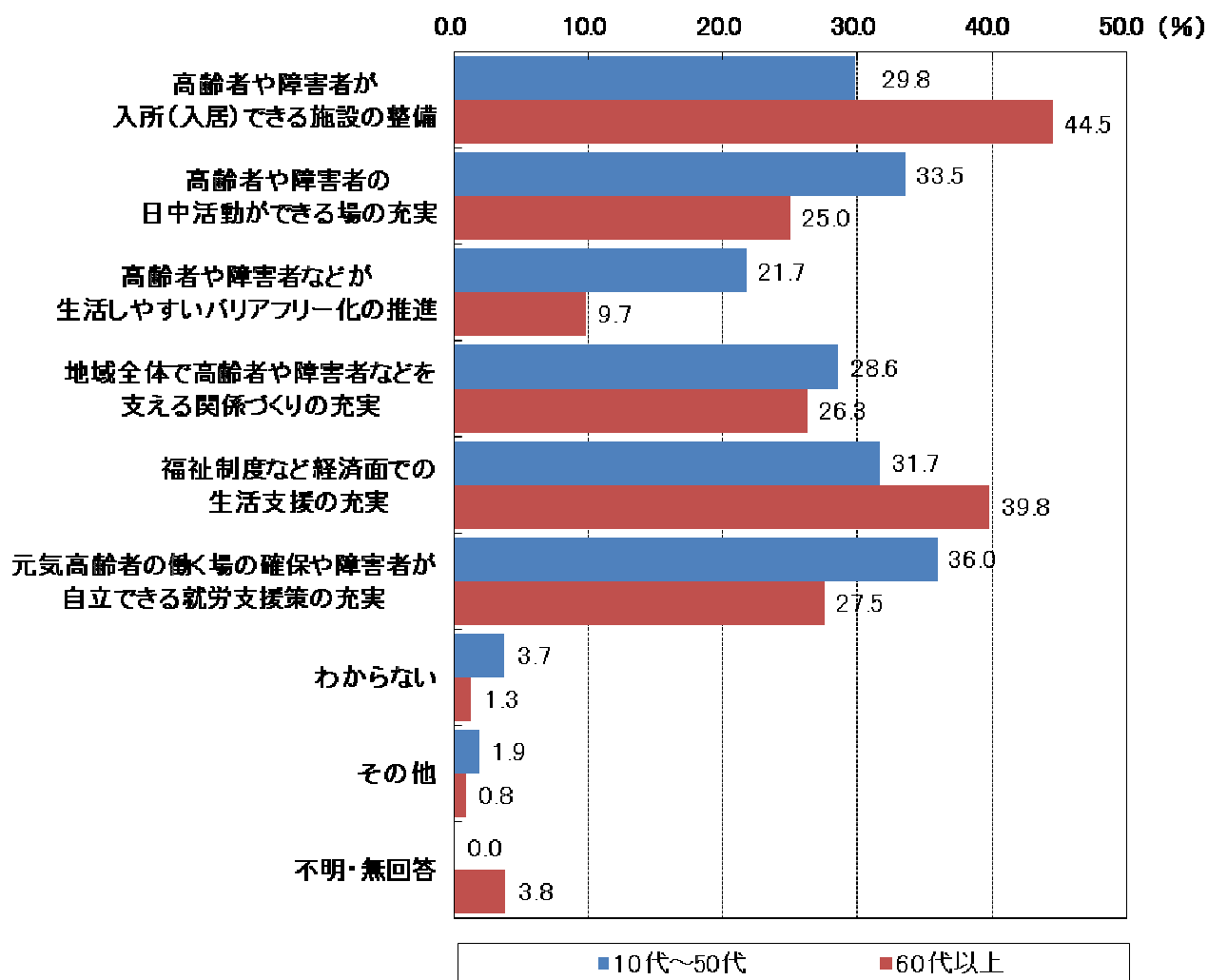


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
ヤングケアラーなど介護に従事する世代への支援
年金の無駄などにならないような方策を検討
在宅医療の推進
行政の積極的介入
公共交通の充実

問 20×年代

福祉の充実策を年代別に見ると、「10代～50代」では「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実」の割合が最も高く、次いで「高齢者や障害者の日中活動ができる場の充実」の割合が高くなっており、「60代以上」では「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」の割合が最も高く、次いで「福祉制度など経済面での生活支援の充実」の割合が高くなっています。



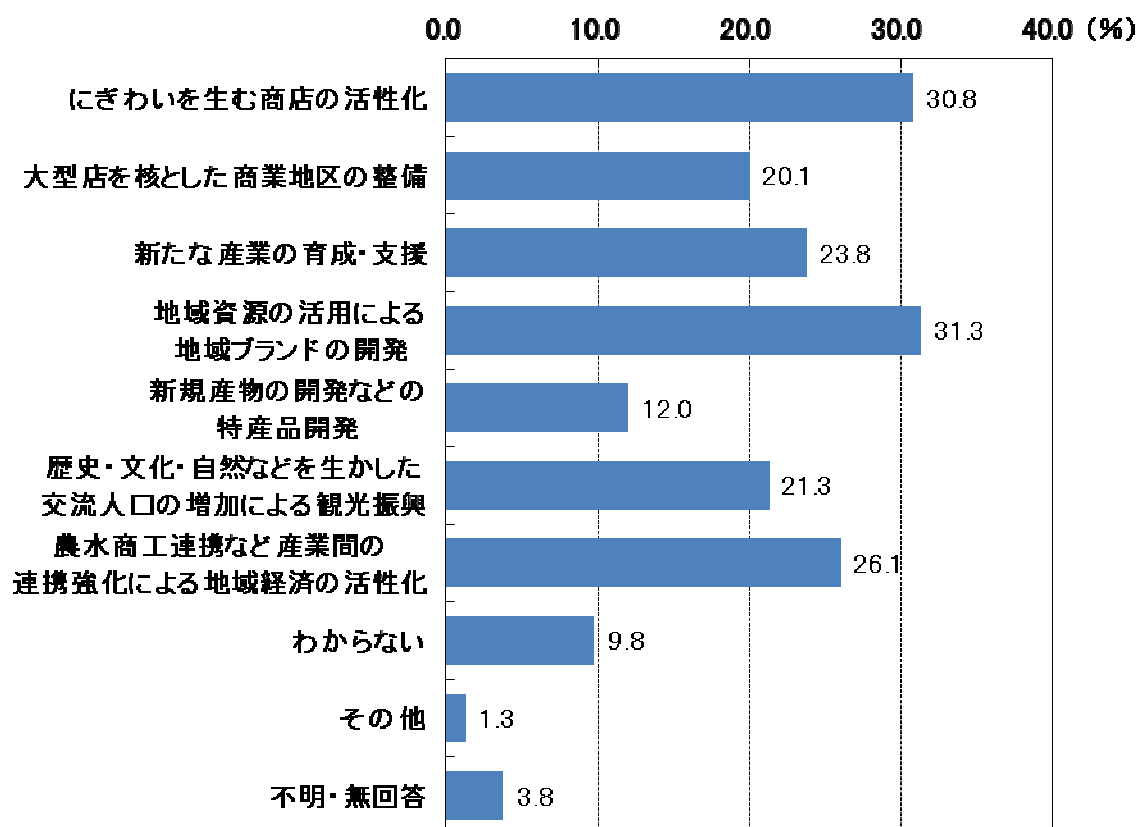
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【産業振興】

問 21 あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

産業振興・活性化策として、「地域資源の活用による地域ブランドの開発」が31.3%、「にぎわいを生む商店の活性化」が30.8%、「農水商工連携など産業間の連携強化による地域経済の活性化」が26.1%となっています。

N=399

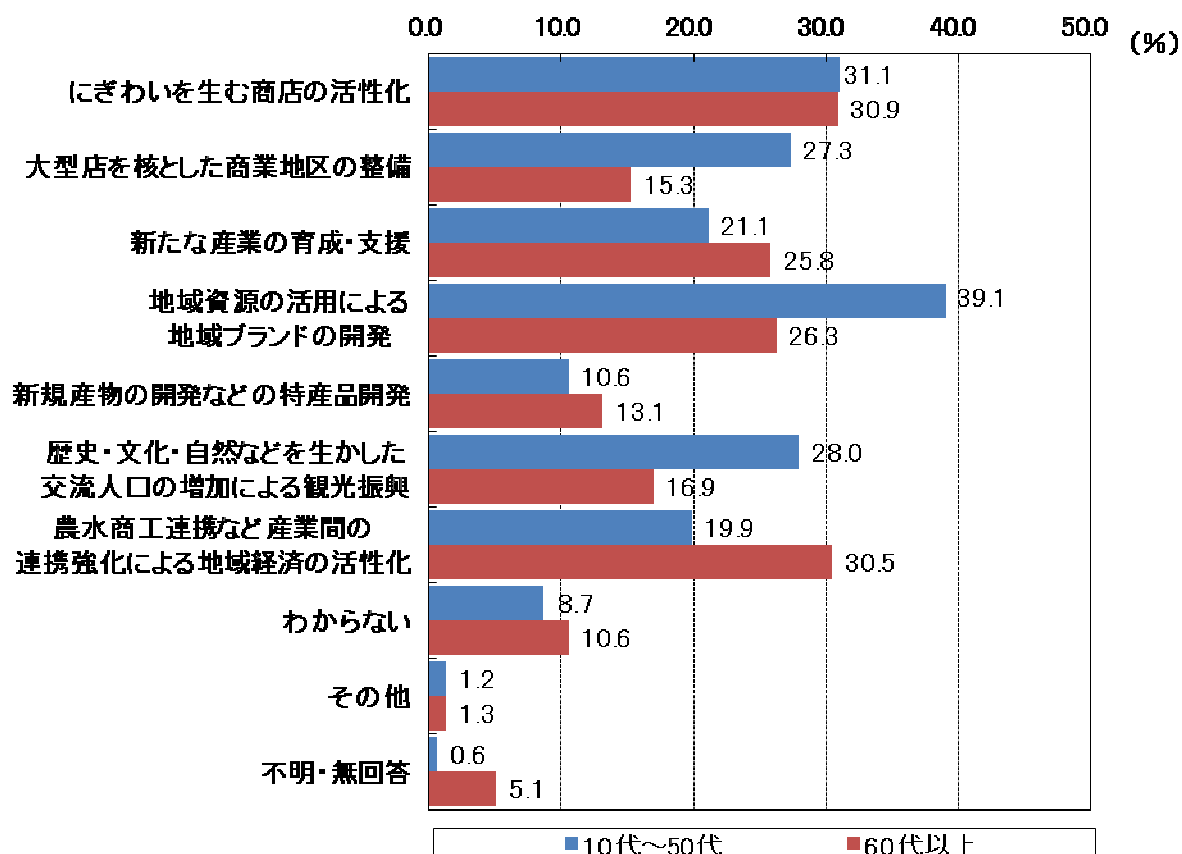


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
IT産業や環境産業の拡大、それによる雇用の充実策
企業誘致に力を入れるべき
情報発信力の強化
まずは少子化対策に力を入れるべき

問 21×年代

産業振興・活性化策を年代別に見ると、「10代～50代」では「地域資源の活用による地域ブランドの開発」の割合が最も高く、次いで「にぎわいを生む商店の活性化」の割合が高くなっており、「60代以上」では「にぎわいを生む商店の活性化」の割合が最も高く、次いで「農水商工連携など産業間の連携強化による地域経済の活性化」の割合が高くなっています。



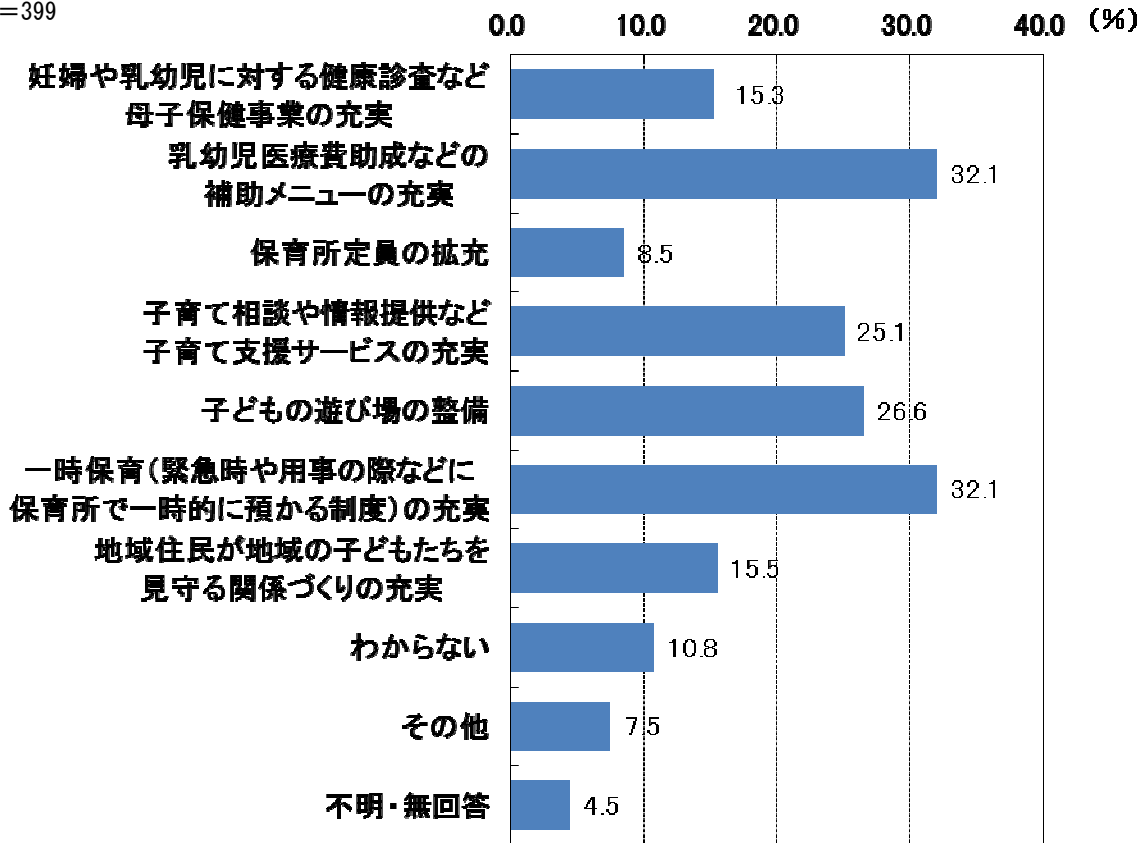
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【子育て環境】

問 22 尾鷲市も少子化が重要な課題となっています。あなたは、少子化に対応するにはどのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

少子化への対応として、「乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実」と「一時保育（緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度の充実）」が32.1%で最も高く、次いで「子どもの遊び場の整備」が26.6%となっています。

N=399

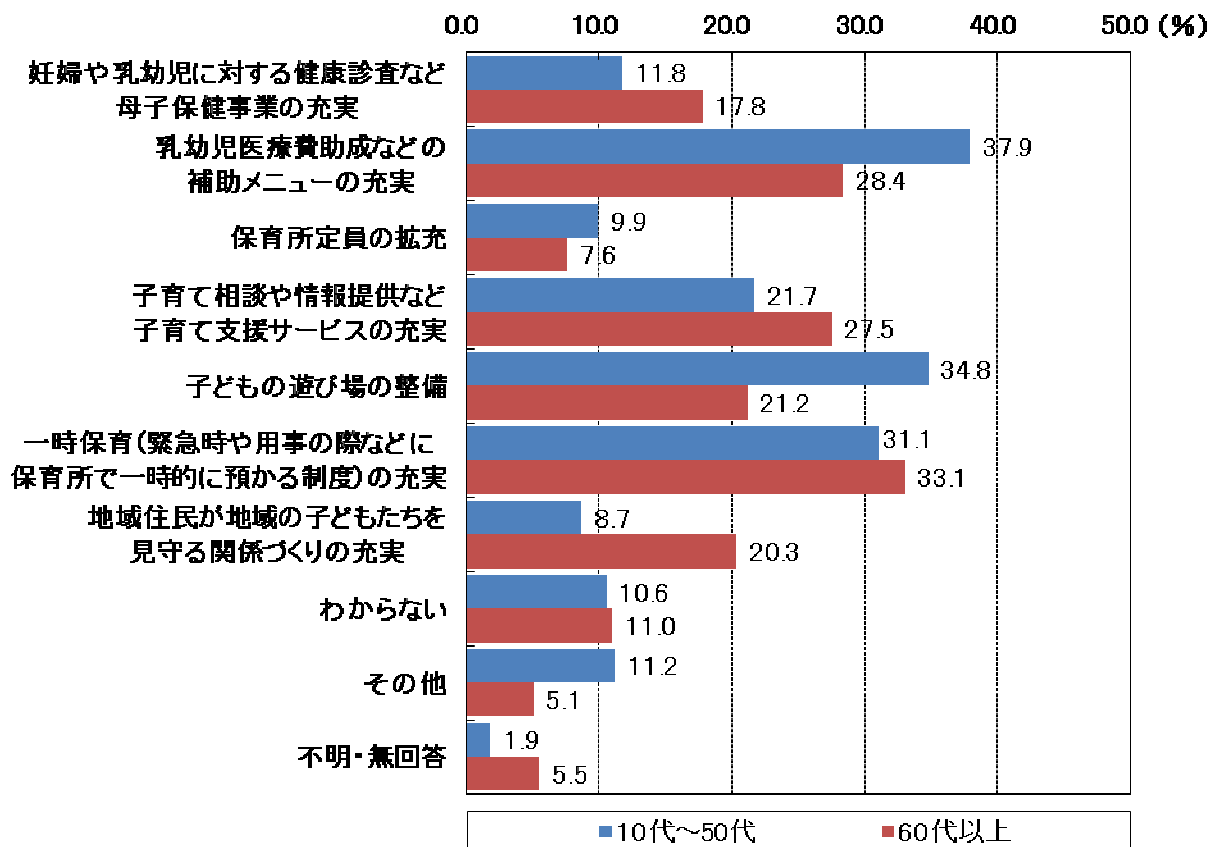


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
若年層や親世代の働く場の充実、所得向上
防災面で不安のない環境
不妊治療への助成
ヤングケアラーへの支援
婚活支援
Uターン・Iターンの推進
まちの魅力を高める
小児科医療・救急対応の充実
教育の充実
若年層に対する空き家の無償提供

問 22×年代

少子化への対応を年代別に見ると、「10代～50代」で「乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実」の割合が最も高く、次いで「子どもの遊び場の整備」の割合が高く、「60代以上」では「一時保育（緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度）の充実」の割合が最も高く、次いで「乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実」の割合が高くなっています。

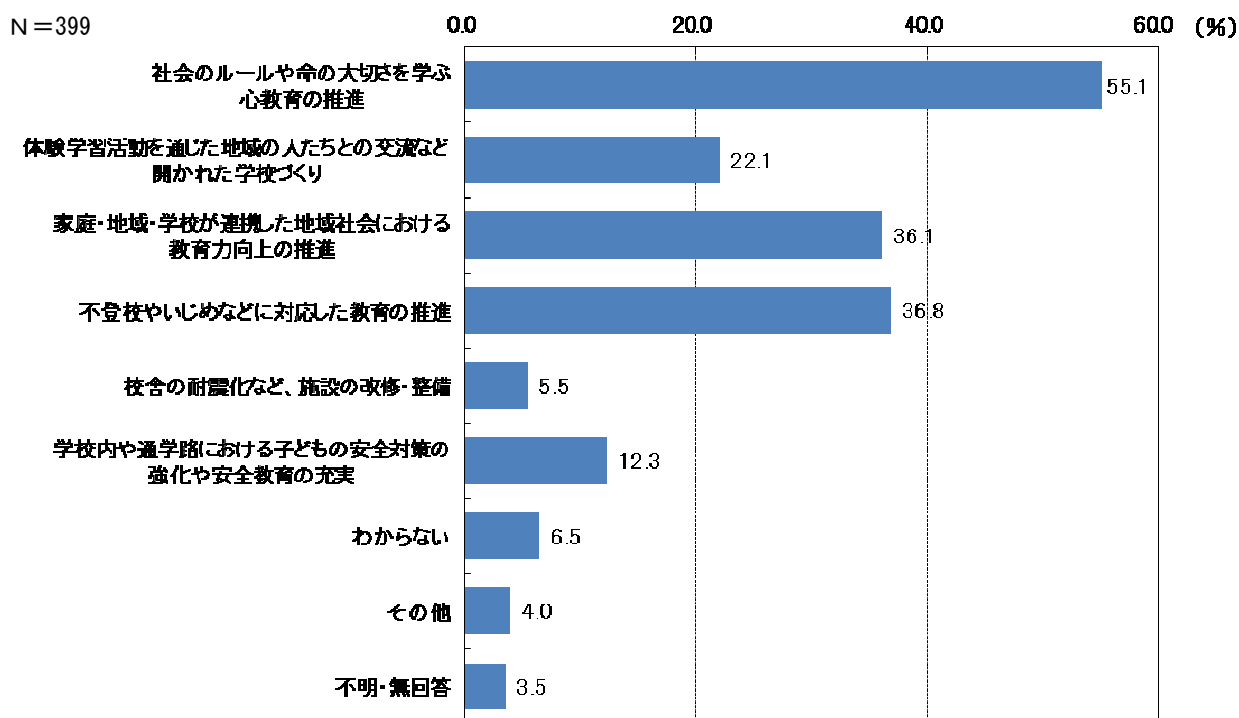


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【学校教育】

問 23 あなたは、学校教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

学校教育の充実策として、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進」が 55.1%、「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」が 36.8%、「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」が 36.1%となっています。

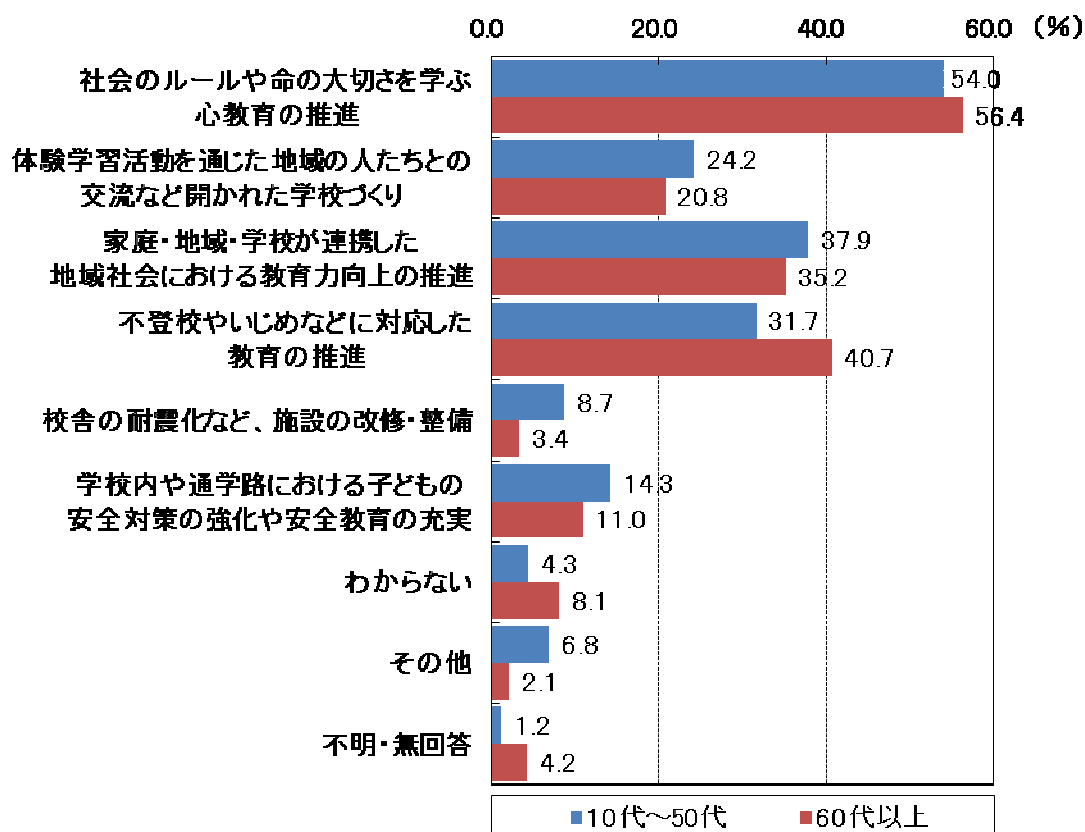


※ 複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
学校の質の向上と格差の是正
他地域の教育システムの取得
学区を解き、特色ある小学校作りによる教育の活性化
中学校の集約化
本人の希望を踏まえた教育の実施
実社会を踏まえたICT教育の実施
外部専門家による日本文化、芸術教育の実施
中学校給食の撤回
中学校給食の実施

問 23×年代

学校教育の充実策を年代別に見ると、全年代で「社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進」の割合が最も高く、次いで「10代～50代」では「体験学習活動を通じた地域の人たちとの交流など開かれた学校づくり」、「60代以上」では「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」の割合が高くなっています。



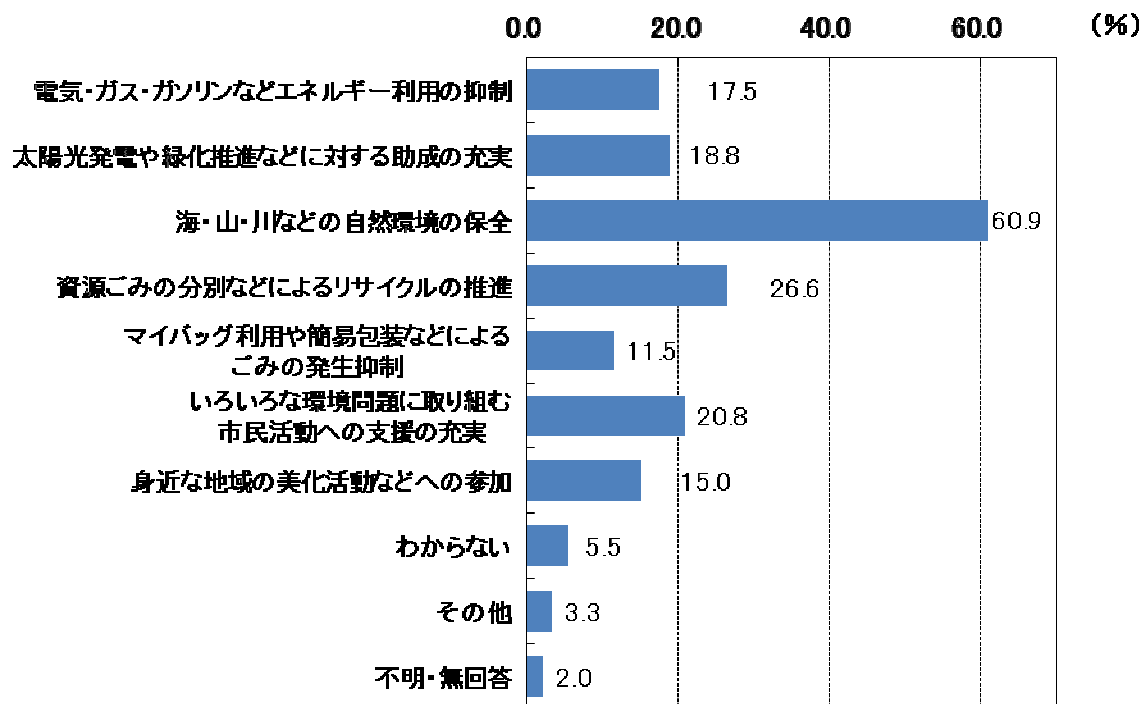
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【環境】

問 24 あなたは、環境を良くするためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
（複数回答）

環境を良くする方策として、「海・山・川などの自然環境の保全」が60.9%、「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」が26.6%となっています。

N=399

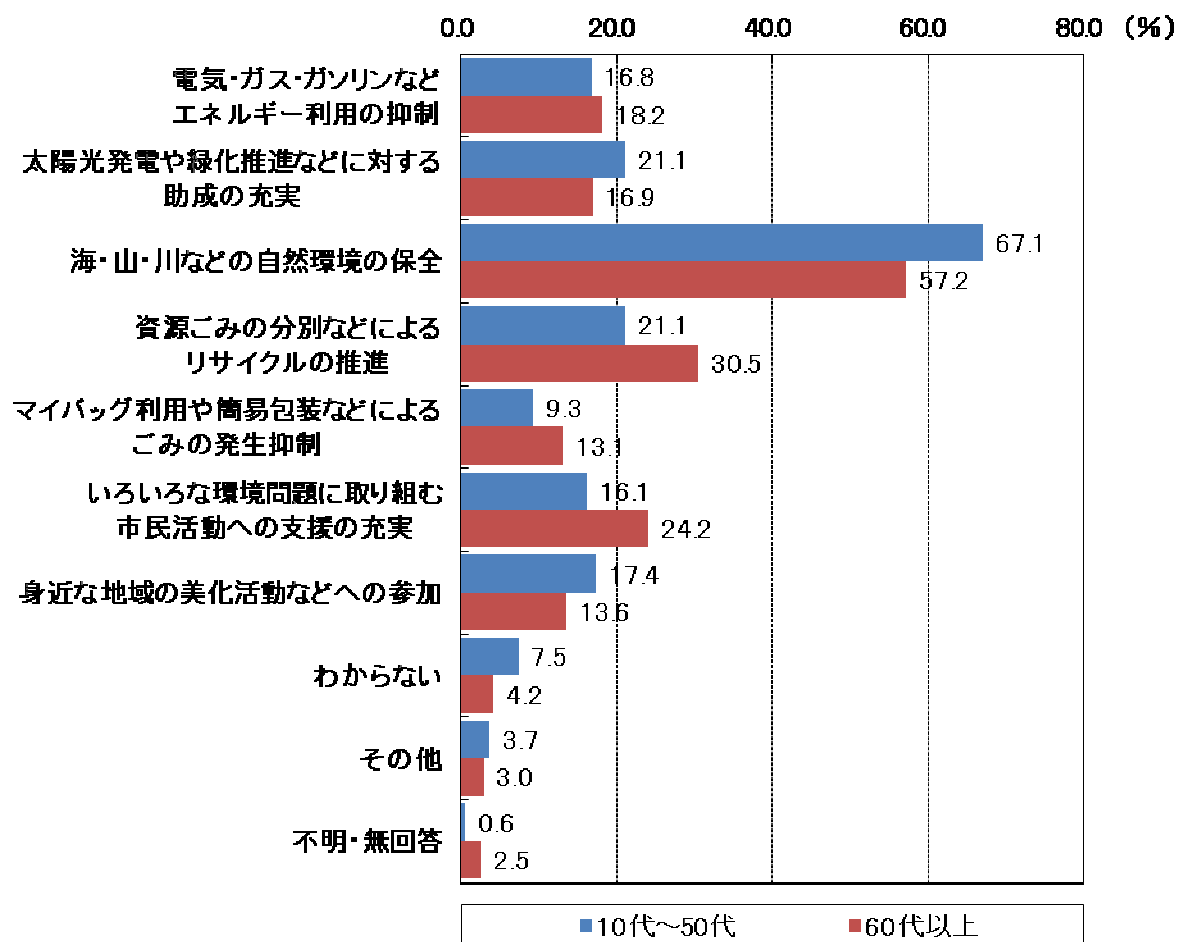


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
空家整備の推進
林業を基に、バイオマス事業等の推進
リサイクルの回収、廃棄の迅速化
風力発電の検討
ポイ捨て禁止の啓蒙活動
不法投棄の厳罰化
個別包装を廃止し量り売りの推進
環境教育の充実
まず環境以外のことに力を入れるべき
大量生産、大量消費で経済活性化すべき

問 24×年代

環境を良くする方策としては、全年代で「海・山・川などの自然環境の保全」の割合が最も高くなっており、次いで「10代～50代」では「太陽光発電や緑化推進などに対する助成の充実」と「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」の割合が、「60代以上」では「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」の割合が高くなっています。



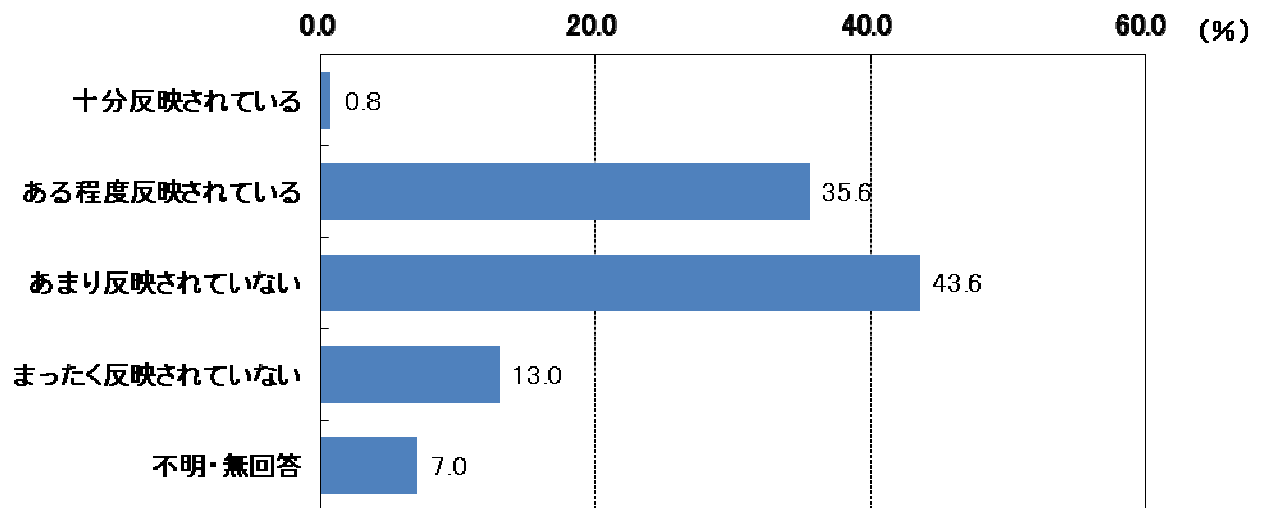
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【市民意見の反映】

問 25 あなたは、現在の市政に市民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。

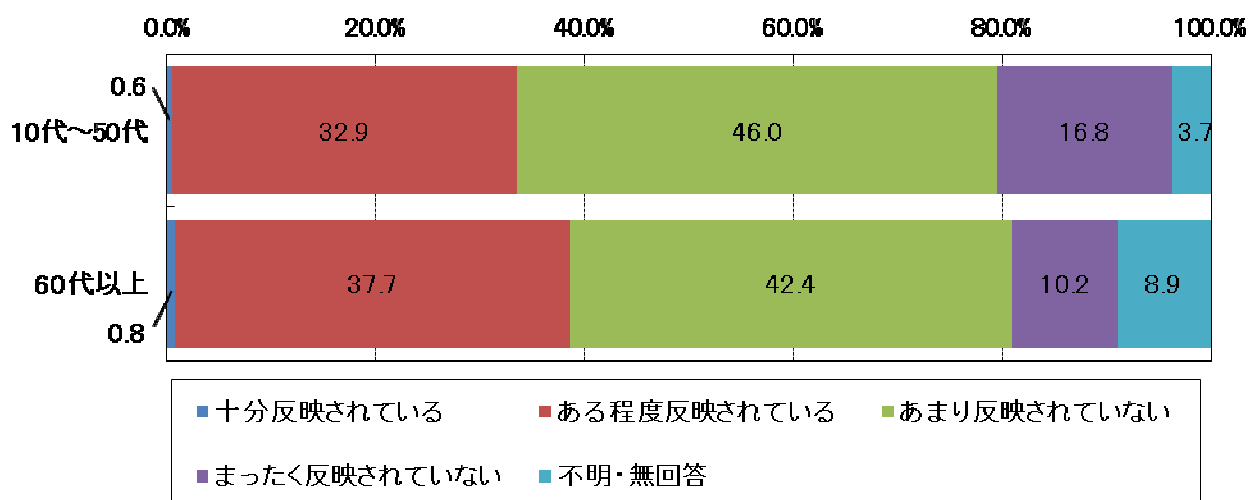
市政への市民意向の反映状況として、「あまり反映されていない」が43.6%、「まったく反映されていない」が13%と、合計で56.6%が「反映されていない」と回答しています。

N=399



問 25×年代

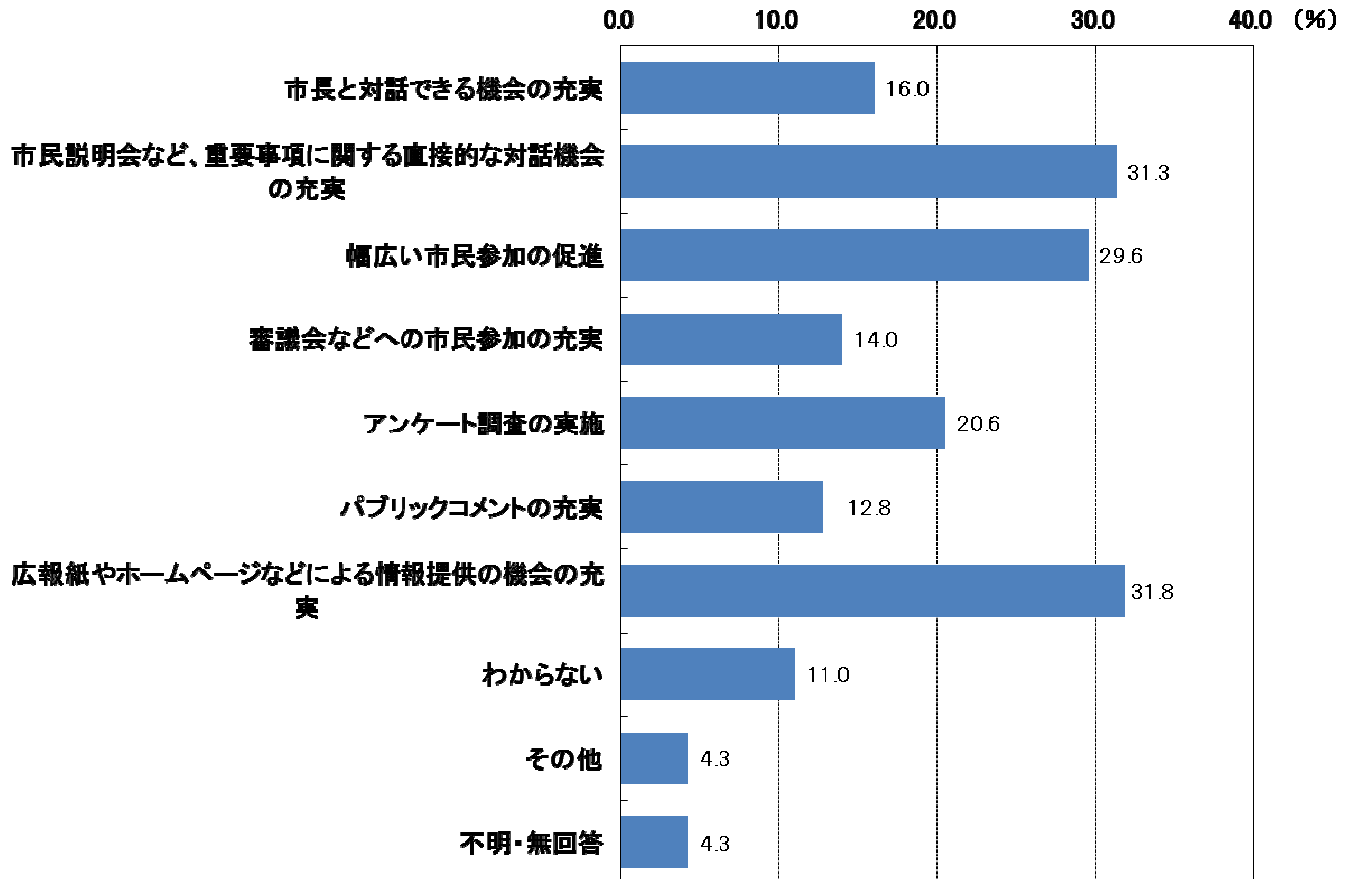
市政への市民意向の反映状況を年代別に見ると、「あまり反映されていない」「まったく反映されていない」の合計が、「10代～50代」では62.8%、「60代以上」では52.6%となっています。



問 26 あなたは、できるだけ多くの市民の意向を市政に反映させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

市民意向を市政に反映させる方策として、「広報誌やホームページなどによる情報提供の機会の充実」が31.8%と最も多く、次いで「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」が31.3%、「幅広い市民参加の促進」が29.6%となっています。

N=399

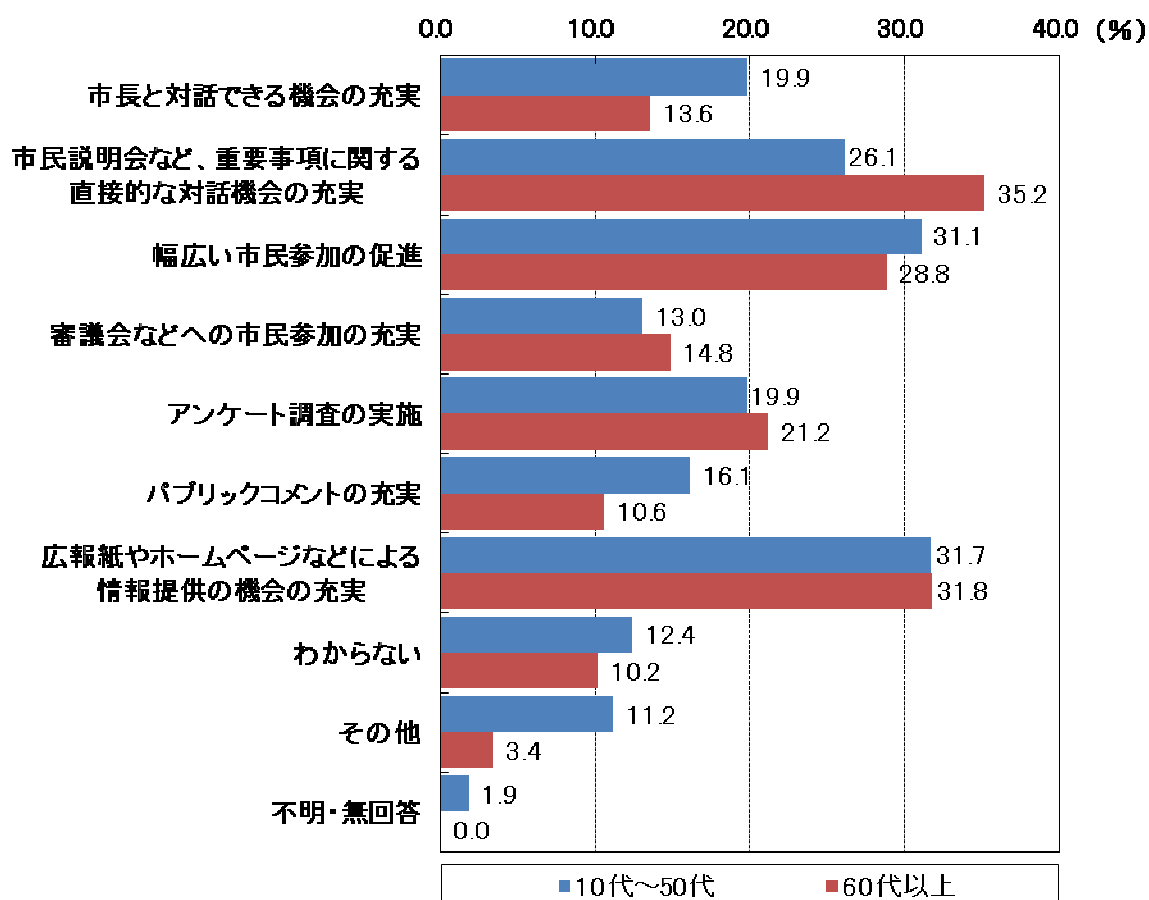


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
市職員、議員の意識改革
偏った意見に左右されず市主体の目標に協力を求めることが必要
他地方の業務経験者による有識者会議の開催
相談や要望を受入できる課を設置
SNS の利用した意見の吸い上げ
目安箱などの設置
現状では何をしても同じ
町内会への職員、議員の積極的加入

問 26×年代

市民意向を市政に反映させる方策を年代別に見ると、「10代～50代」では「広報誌やホームページなどによる情報提供の機会の充実」の割合が最も高く、次いで「幅広い市民参加の促進」の割合が高くなっており、「60代以上」では「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」の割合が最も高く、次いで「広報誌やホームページなどによる情報提供の機会の充実」の割合が高くなっています。

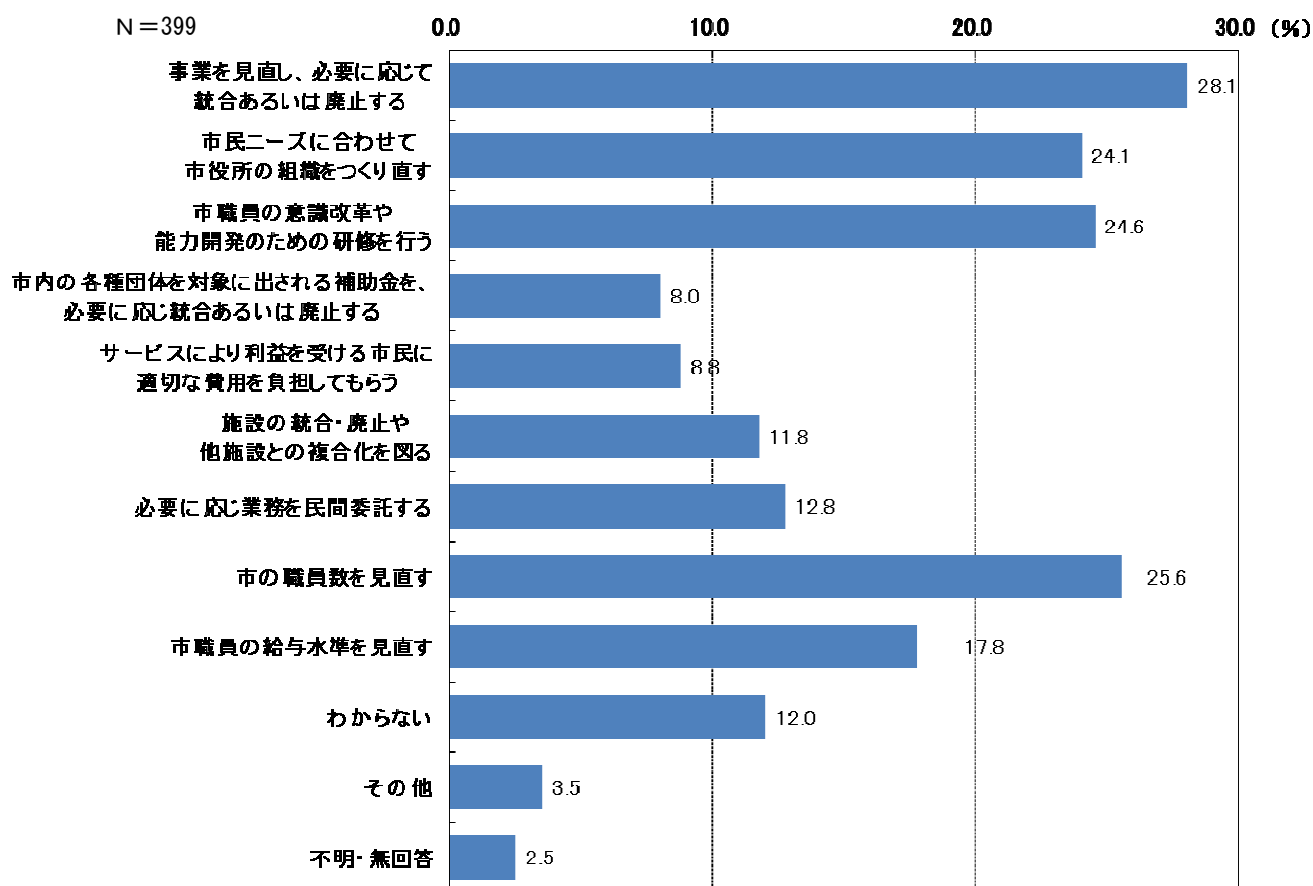


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【行政改革】

問27 あなたは、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、どのような方策が必要だと考えますか。(複数回答)

効率的かつ効果的な行政サービスの提供方策として、「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」が28.1%、「市の職員数を見直す」が25.6%、「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」が24.6%となっています。

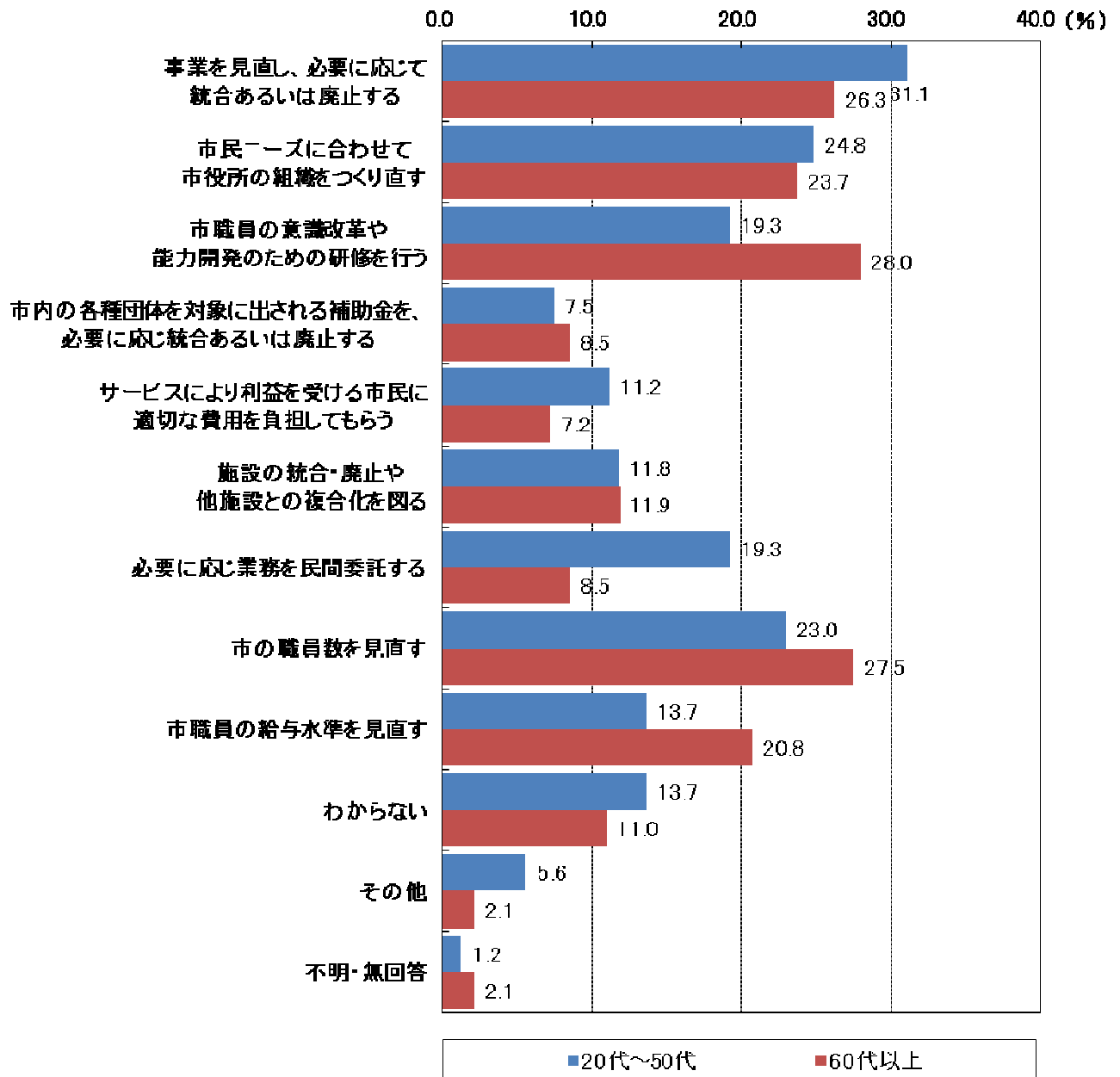


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
若い人材の活用
過去にとらわれず、提案や事業活動を行う
他地域の行政サービスとの比較検討の実施
財政規模に応じた体制構築
市政や市民ニーズの把握状況を分かりやすく市民に伝える
議会改革の推進
市民の行政参画を促進し、納税意識の向上を図る
DXなど新しいことを取り入れる
市で行う業務を増やす
コミュニティセンターの活用促進

問27×年代

効率的かつ効果的な行政サービスの提供方策を年代別に見ると、「10代～50代」では「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」の割合が最も高く、次いで「市民ニーズに合わせて市役所の組織をつくり直す」の割合が高くなっており、「60代以上」では「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」の割合が最も高く、次いで「市の職員数を見直す」の割合が高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

4. 暮らしの満足度と今後の重要度について

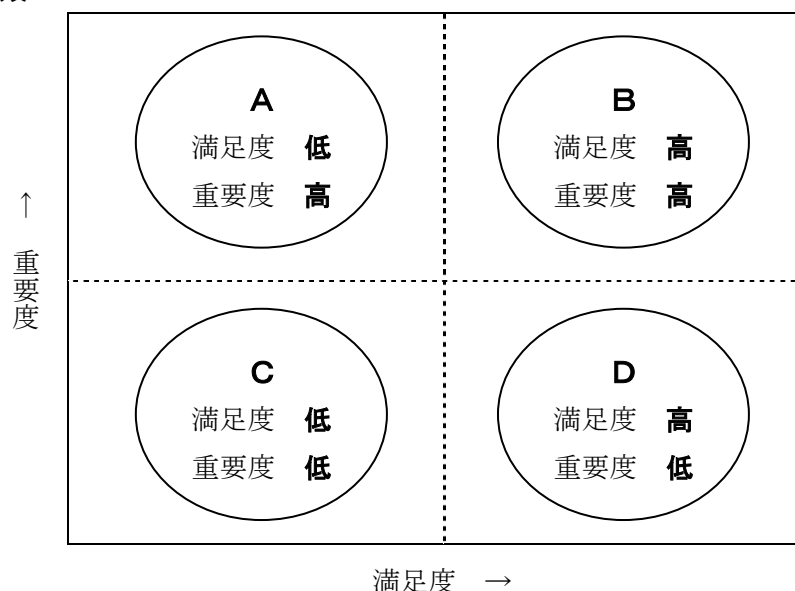
問28 市が実施している取り組みやサービスについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」をお聞かせください。

満足度の点数化については、「満足」＝5点、「どちらかといえば満足」＝4点、「普通」＝3点、「どちらかといえば不満」＝2点、「不満」＝1点として、「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

重要度の点数化については、「重要」＝5点、「どちらかといえば重要」＝4点、「普通」＝3点、「どちらかといえば重要でない」＝2点、「重要でない」＝1点として、「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

市の取り組みやサービスの分野 38 項目について、上記の基準で点数化し、散布図に落とし込みました。

■結果の分類



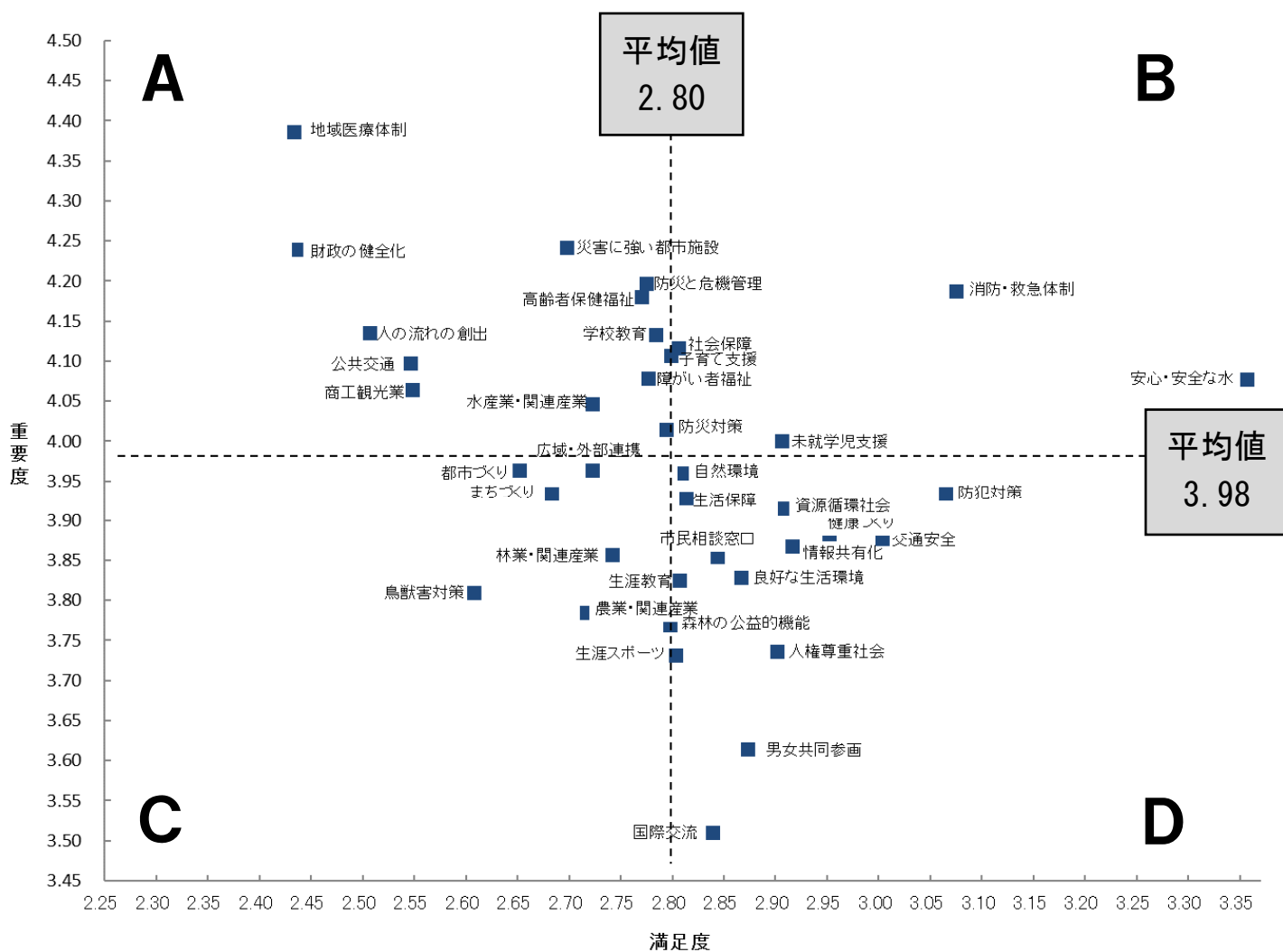
領域	説明
A	重要度が高いにも関わらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
B	満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
C	満足度も重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
D	満足度は高く、重要度が低いため、今後場合によっては満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

※上記の領域については、あくまで 38 項目の中の相対的な位置関係を示すために便宜上設定した分類であるため、A～Dは絶対的な区分ではありません。

■満足度・重要度の散布図

満足度と重要度の散布図について、「地域医療体制」「財政の健全化」「人の流れの創出」などがAの領域に分類され、今後優先して充実することが求められている項目となります。

一方で、「国際交流」「男女共同参画」「人権尊重社会」などがDの領域に分類されています。



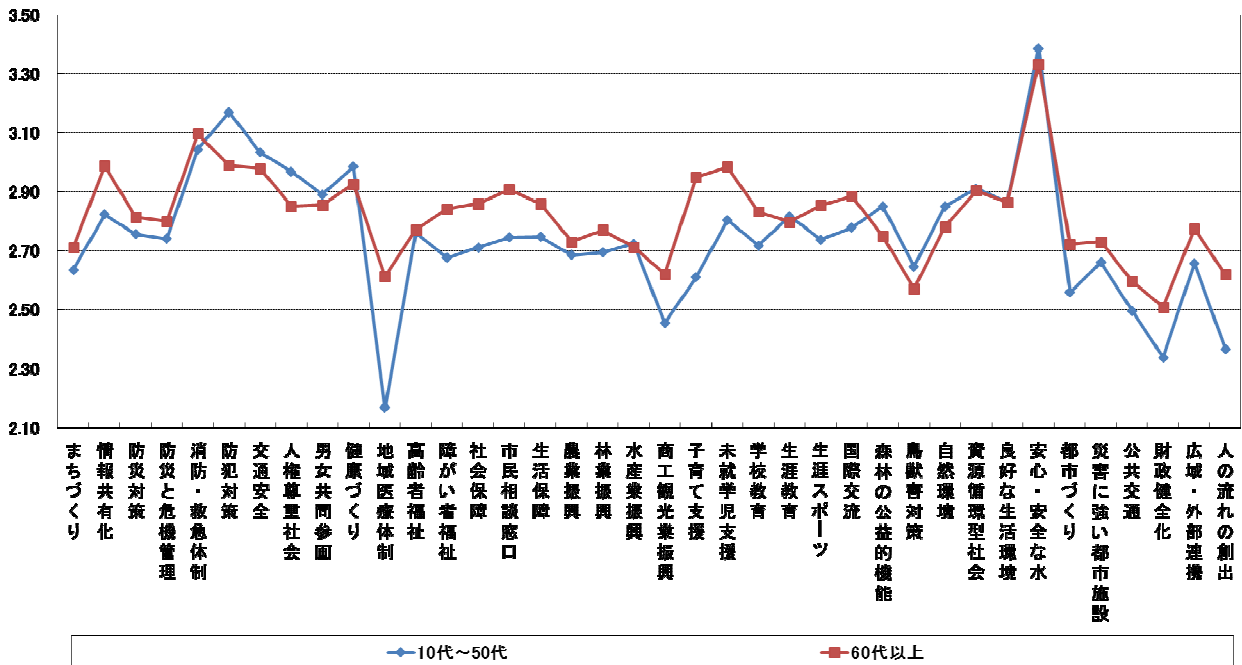
■満足度・重要度一覧

	満足度	重要度
(1) 市民参加によるまちづくり 地域課題を解決するため、共に話し合い、活動している取り組みなど	2.68	3.93
(2) 情報共有化 広報紙、市ホームページなどによる行政情報の提供など	2.92	3.87
(3) 市民参加による防災対策 防災体制づくりの自立的・持続的な取り組みや、安全で安心な取り組みなど	2.79	4.01
(4) 防災と危機管理 土砂災害や雨水浸水などに対応できる都市基盤、避難場所、防災情報の提供、自主防災組織の整備、広域自治体間協力など	2.78	4.20
(5) 消防・救急体制 火災や地震災害等における消火・救急・救助活動確保のための人員体制及び車両・資機材の整備、また、応急手当の普及講習、消防団との連携など	3.07	4.19
(6) 防犯対策 犯罪の不安を感じることはない安全で安心な取り組みなど	3.07	3.93
(7) 交通安全 交通安全意識が高まり、交通事故に遭わない、交通事故が起きない取り組みなど	3.00	3.88
(8) 人権尊重社会 人権に関する学習会や人権相談など、一人ひとりが互いに人権を尊重し合う取り組みなど	2.90	3.74
(9) 男女共同参画の推進 性別にとらわれず、それぞれのライフスタイルや価値観を尊重し合う取り組みなど	2.87	3.61
(10) 健康づくり ライフステージに応じた健康づくり事業、母子保健事業・介護予防事業など	2.95	3.88
(11) 地域医療体制 尾鷲総合病院の診療体制や設備、地域内の医院・診療所など	2.43	4.39
(12) 高齢者保健福祉 いつまでも元気に社会のなかで活躍し、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らすことができる取り組みなど	2.77	4.18
(13) 障がい者福祉 自立支援などの福祉サービスにより、住み慣れた地域で暮らせる取り組みなど	2.78	4.08
(14) 社会保障の確保 安心して生活ができる、社会保障制度が健全に運営される取り組みなど	2.81	4.12
(15) 市民相談窓口の確保 必要ときに適切な相談を受けることができる取り組みなど	2.84	3.85
(16) 生活保障の確保 必要ときに適切な支援を受けることができる取り組みなど	2.81	3.93
(17) 農業振興 さまざまな形態の農業活動が行われ、農地の保全・管理、活用がされる取り組みなど	2.72	3.78
(18) 林業振興 経営基盤が強化され、施業を継続的に実施できる取り組みなど	2.74	3.86
(19) 水産業振興 水揚げ量の拡大、生産体系の見直しや生産性及び付加価値の向上により、水産業が持続できる取り組みなど	2.72	4.05
(20) 商工観光業振興 活発な産業活動により、魅力ある雇用の場が創出される取り組みなど	2.55	4.10
(21) 子育て支援 保育サービス、子育てに関する相談体制や情報提供、放課後の子どもの安全な活動場所などの環境づくりなど	2.80	4.11
(22) 未就学児支援 未就学児が健やかに成長できる取り組みなど	2.91	4.00
(23) 学校教育 一人ひとりの個性や能力を伸ばし、確かな学力、豊かな心、健康な体づくりにより、笑顔いっぱいの子どもを育む取り組みなど	2.78	4.13
(24) 生涯教育の推進 文化・生涯学習を行うための設備の管理、その指導者の育成支援など	2.81	3.82
(25) 生涯スポーツの推進 年齢、体力、好みに応じて多くのスポーツに触れ、楽しくスポーツが親しめる取り組みなど	2.80	3.73
(26) 国際交流の推進 多様な交流ができ、国際感覚豊かな人づくりがされる取り組みなど	2.84	3.51
(27) 森林の公益的機能 適正に管理・保全され、森林の公益的機能が確保される取り組みなど	2.80	3.77

(28)鳥獣害対策の推進 野生鳥獣との共生を図り、鳥獣害が発生しない取り組みなど	2.61	3.81
(29)自然環境 自然環境や生態系に配慮し、良好な自然が残る取り組みなど	2.81	3.96
(30)資源循環型社会の推進 ごみの発生抑制・再利用・再生利用が進んだ、環境に負荷をかけない取り組みなど	2.91	3.91
(31)良好な生活環境の保全 環境負荷を低減し、快適な生活が営める取り組みなど	2.87	3.83
(32)安全・安心な水の確保 安全で安心な水が安定供給される取り組みなど	3.36	4.08
(33)都市づくり 安心して暮らせる都市基盤が整備される取り組みなど	2.65	3.96
(34)災害に強い都市施設 災害に強い都市施設により、安心して快適に暮らせる取り組みなど	2.70	4.24
(35)公共交通 安全で利便性が高く、環境にやさしい公共交通により快適に暮らし、移動ができる取り組みなど	2.55	4.06
(36)財政の健全化 行政組織のスリム化などの構造改革、財政運営の見直し、職員の意識改革を行い、持続可能な行政体質への変革を図るなど	2.44	4.24
(37)広域・外部連携の推進 近隣市町や産学官の連携、共創による新たなまちづくりがされる取り組みなど	2.72	3.96
(38)人の流れの創出 多くの市民が住み続けたいと思い、市外の人も住み続けたいと思えるまちとなるような定住移住に対する取り組みなど	2.51	4.14
平均	2.80	3.98

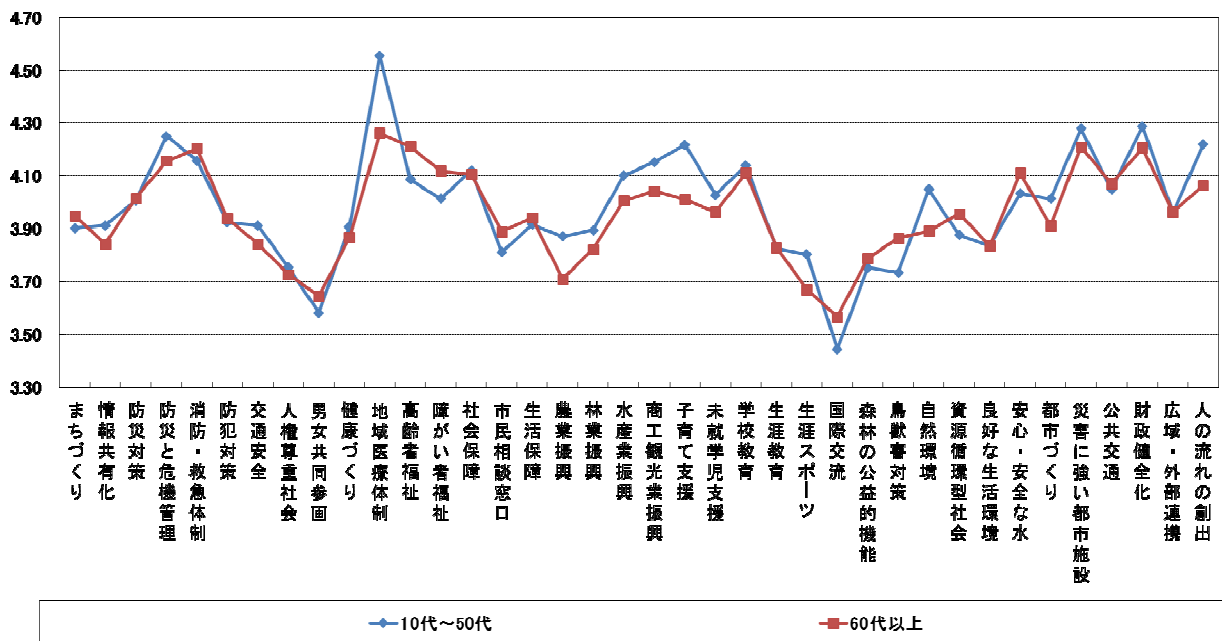
■満足度×年代

満足度について年代別に見ると、全年代で「安心・安全な水」の数値が高くなっており、次いで「10代～50代」では「防犯対策」「消防・救急体制」が、「60代以上」では「消防・救急体制」「情報共有化」「防犯対策」の数値が高くなっています。



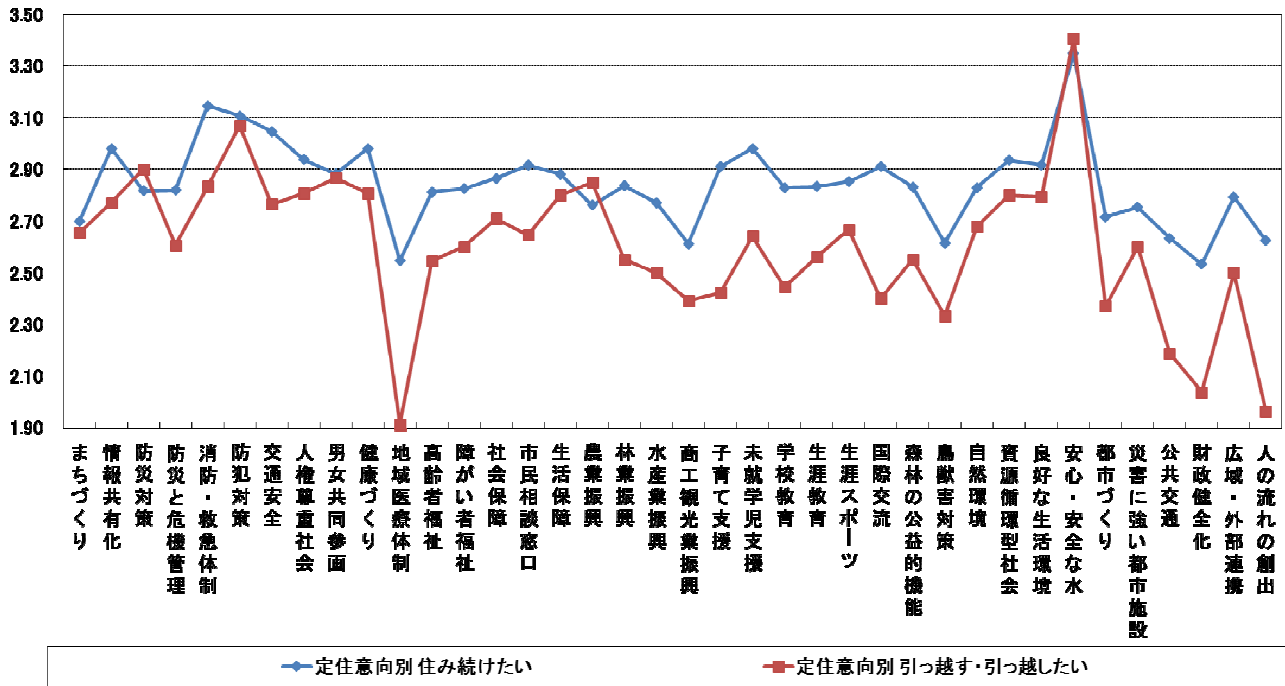
■重要度×年代

重要度について年代別に見ると、全年代で「地域医療体制」の数値が高くなっており、次いで「10代～50代」では「財政健全化」「災害に強い都市施設」が、「60代以上」では、「高齢者福祉」「災害に強い都市施設」「財政健全化」の数値が高くなっています。



■満足度×定住意向

満足度について定住意向別に見ると、ほとんどの項目で「住み続けたい」の方が高い数値となっています。一方で、「防災対策」「農業振興」「安心・安全な水」などでは、「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方の数値が高くなっています。



■重要度×定住意向

重要度について定住意向別に見ると、定住意向に関係なく「地域医療体制」の数値が最も高く、次いで「住み続けたい」を選んだ方は「災害に強い都市施設」の数値が高くなっており、「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方は「財政健全化」の数値が高くなっています。

